

2011 年春季年会

年会プログラム

於 筑波大学

2011 年 3 月 16 日 (水) ~ 3 月 19 日 (土)

日本天文学会

日本天文学会 2011 年春季年会プログラム

期 日 2011 年 3 月 16 日 (水) ~ 3 月 19 日 (土)

場 所 筑波大学 (茨城県つくば市)

電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2011 年 3 月 15 日 (火) ~ 3 月 20 日 (日)>

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
3月15日 (火)								記者会見					
3月16日 (水)	A	受付			K. 超新星爆発 L. 太陽系 T. 銀河団 S. 銀河核 X. 銀河形成 J. 高密度星 Y. 教育・他 P. 星・惑星			ALMA 特別セッション (H会場)		天文教育 フォーラム (H会場)		理事会	
	B												
	C												
	D												
	E												
	F												
	G												
	H												
3月17日 (木)	A	受付	V. 地上観	ポスター	昼休み (評議員会)	V. 地上観	総会 出席者確認	総会 (大学会館)	林賞 受賞 記念講演	懇親会 (大学会館)			
	B		W. 飛翔観			W. 飛翔観							
	C		R. 銀河			R. 銀河							
	D		S. 銀河核			S. 銀河核							
	E		X. 銀河形成			X. 銀河形成 / M. 太陽							
	F		J. 高密度星			J. 高密度星							
	G		Y. 教育・他 / N. 恒星			N. 恒星							
	H		P. 星・惑星			P. 星・惑星							
3月18日 (金)	A	受付	V. 地上観	ポスター	昼休み	V. 地上観	研究奨励賞 受賞記念講演 (H会場)	LCGT 特別セッション (H会場)					
	B		W. 飛翔観			W. 飛翔観							
	C		R. 銀河 / Q. 星間			Q. 星間							
	D		U. 宇宙論			U. 宇宙論							
	E		M. 太陽			M. 太陽							
	F		J. 高密度星			J. 高密度星							
	G		A. 共進化			A. 共進化							
	H		P. 星・惑星			P. 星・惑星							
3月19日 (土)	A	受付	V. 地上観	ポスター	昼休み	ジュニアセッション (詳細は Web にて)							
	B		W. 飛翔観										
	C		Q. 星間										
	D		U. 宇宙論										
	E		M. 太陽										
	F		J. 高密度星										
	G		A. 共進化										
	H												
3月20日 (日)								公開講演会					

A会場 : 1C棟 (210)

B会場 : 1C棟 (306)

C会場 : 1C棟 (310)

D会場 : 1C棟 (403)

E会場 : 1D棟 (204)

F会場 : 1D棟 (201)

G会場 : 1H棟 (101)

H会場 : 1H棟 (201)

受付 : 1C棟 (2Fロビー)

会議室 : 1C棟 (3F)

ポスター会場1 : 1E棟 (102)

ポスター会場2 : 1E棟 (203)

ポスター会場3 : 1E棟 (202)

ポスター会場4 : 1E棟 (303)

ポスター会場5 : 1E棟 (401)

展示会場1 : 1E棟 (1F)

展示会場2 : 1E棟 (1F)

ネットワーク室 : 1E棟 (403)

懇親会会場 : 大学会館

◎講演数

講演数：合計 632

(口頭講演 (a)：403、ポスター講演 (b)：181、ポスター講演 (c)：48)

◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し会員で講演有りの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年 会 予 稿 集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (1C 棟 2F ロビー)

○参加登録受付時間：3 月 16 日 11:00～16:00

3 月 17 日 09:00～16:00

3 月 18 日 09:00～16:00

3 月 19 日 09:00～13:00

※参加費・講演登録費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費を支払う必要があります。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

※インターネットを利用される方は、隣の専用受付で利用申請してください。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 8 会場で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 月 16 日の 12:00 から 3 月 19 日の 13:30 までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦 180 cm × 横 90 cm です。
3. 講演には液晶プロジェクタをご使用ください。液晶プロジェクタは、セッション開始前に PC の接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中に PC を接続しておいてください。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
3月15日	14:30～15:30	会議室	記者会見 年会講演の中から、数件のトピックスを選び、記者会見を行います。
3月16日	15:15～16:45	H会場	ALMA 特別セッション
	16:45～18:15	H会場	天文教育フォーラム
3月17日	15:30～17:00 (15:30～16:00 総会出席者確認、16:00 総会開始)	大学会館講堂	総 会 ○各賞の受賞 ○2010年度事業報告 ○2010年度決算報告 ○監査報告
	17:00～17:30	大学会館講堂	林忠四郎賞受賞記念講演
	18:00～	大学会館プラザ	懇親会
3月18日	15:45～16:45	H会場	研究奨励賞受賞記念講演
	16:45～18:15	H会場	LCGT 特別セッション
3月20日	14:00～17:00	つくば国際会議場エポカル	公開講演会

◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
3月16日	18:30～19:30	会議室	理事会	D
3月17日	12:30～13:30	会議室	評議員会	D
	12:30～13:30	A会場	宇宙電波懇談会総会	C
3月18日	12:30～13:30	A会場	ALMA 観測相談会	A
	12:30～13:30	B会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
	12:30～13:30	C会場	光赤外天文学連絡会総会	C
	12:30～13:30	E会場	太陽研究者連絡会	B
	12:30～13:30	F会場	天文・天体物理若手の会総会	C
3月19日	12:30～13:30	A会場	女性天文学研究者の会・ランチミーティング	A

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい

B: 興味を持った人には広く門戸を開いている

C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない

D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

◎ ALMA 特別セッション : いよいよ始まる ALMA 初期運用観測

日 時 : 2011 年 3 月 16 日 (水) 15 : 15 ~ 16 : 45

場 所 : H 会場

概 要 : いよいよ ALMA の最初の初期運用 call for proposal(CfP) を宣言することになりました。プロポーザルの締め切りは 6 月末ですので、この春季学会が ALMA 最初の観測提案の最後の学会となります。本特別セッションでは天文学会員の皆様に ALMA の第 1 回初期運用時の性能を具体的に紹介し、どんな観測ができるのか、できないのかを説明します。また、第 1 回プロポーザルでは、観測提案をする際にどのような ALMA のユーザーサポートを受けられるのか、観測実施が決定後にどのようなユーザーサポートが得られるのかについても説明します。ALMA サイエンス評価活動で得られた最新のサイエンス成果などを紹介しながら、これらの説明および紹介を行いますので、これを機に是非 ALMA の観測提案をブラッシュアップして頂ければと思います。

プログラム : 1. いよいよ始まる ALMA 初期運用観測 井口 聖 (国立天文台)
 2. 初期運用のできる観測、できない観測 齋藤正雄 (国立天文台)
 3. ALMA で観測するための地域センターの利用法 奥村幸子 (国立天文台)
 4. さあ ALMA のプロポーザルを出しましょう 西合一矢 (国立天文台)

世 話 人 : 齋藤正雄 (国立天文台)

◎ LCGT 特別セッション

日 時 : 2011 年 3 月 18 日 (金) 16 : 45 ~ 18 : 15

場 所 : H 会場

概 要 : 大型低温重力波望遠鏡 LCGT 計画は、平成 22 年 6 月に最先端研究基盤事業に採択されました。本計画は、神岡鉱山内に基線長 3km の高感度レーザー干渉計を建設して、世界に先駆けて重力波の直接検出をめざすというものです。高感度化のために地下設置し、熱雑音を低減化するために低温ミラーを装着します。本計画では国際共同が前提となっています。最終的には国際観測ネットワークに加わって重力波天文学を構築することを目標としますが、初めは先行する LIGO や VIRGO と重力波の直接検出を競います。今回の特別セッションでは、以上のような本計画の概要および目指すサイエンスを紹介します。

プログラム : 1. はじめに 大橋正健 (東大宇宙線研究所)
 2. LCGT 計画の概要 黒田和明 (東大宇宙線研究所)
 3. LCGT の目指すサイエンス 神田展行 (大阪市立大学)

世 話 人 : 大橋正健 (東大宇宙線研究所)

◎天文教育フォーラム

主 催：日本天文学会、天文教育普及研究会

テーマ：「科学コミュニケーション」

日 時：2011年3月16日(水) 16:45～18:15

場 所：H会場

概 要：最近では市民が気軽にサイエンスを楽しめるように、サイエンス・カフェなどが各地で広く開催されるようになってきました。また「科学技術コミュニケーションの推進」は国の方針としても出されており、内閣府の総合科学技術会議でも、基本的取り組み方針として「研究活動の内容や成果を社会・国民に対して分かりやすく説明する、未来への希望を抱かせる心の通った双方向コミュニケーション活動を『国民との科学・技術対話』と位置付けること」とし、具体的に大学や研究機関においても今後取り組むべき事項が列挙されるなどの流れができています。一方、科学の他分野からは天文分野は「科学コミュニケーション」が進んでいると見なされており、その点で当事者たちの考え方や手法をまとめて社会に発信できる形にすることは重要でしょう。「科学コミュニケーション」というものと、天文教育や普及・広報にたざざわっている方々の普段からの活動と違いがあるのでしょうか。どのような関係にあると捉えるべきなのでしょう。フォーラムではまず広い立場から見て現在実践されている科学コミュニケーションの実情を知り、その中で天文分野における特性を概観したいと思っています。さらに市民的な立場で活動されている例についても話題提供していただき、今後どのような形での発展が期待できるのかを議論する予定です。

- 内 容：1. 「今の時代に必要な科学コミュニケーションとは」 横山広美（東京大学理学部）
 2. 「天文学分野における科学コミュニケーション」 縣秀彦（国立天文台）
 3. 「市民の立場による科学コミュニケーション」 小幡真希（星のソムリエみたか）
 4. 討論 進行：高梨直紘（東京大学生産技術研究所/EMP）

参加費：日本天文学会年会は非会員も参加できます。また、天文教育フォーラムのみの参加者は、年会参加費は不要です。年会受付時に、その旨お申し出下さい。

実行委員：仲野誠（大分大学）、直井雅文（埼玉県立浦和高校）、中道晶香（京都産業大学）、安藤享平（郡山市ふれあい科学館）

◎日本天文学会公開講演会

テーマ：「宇宙探求への道」

日 時：2011年3月20日(日) 14:00～17:00（開場13:00）

場 所：つくば国際会議場エポカル <http://www.epochal.or.jp/>

対 象：中学生以上・一般向け（小学生以下でも参加可）

内 容：4講演

- (1) 「宇宙ステーションと宇宙開発」 佐藤直樹（JAXA）
- (2) 「星くずから惑星を作るー計算機の中の地球」 小久保英一郎（国立天文台）
- (3) 「宇宙の始まり」 中尾憲一（大阪市立大学）
- (4) 「南極から宇宙を観る」 中井直正（筑波大学）

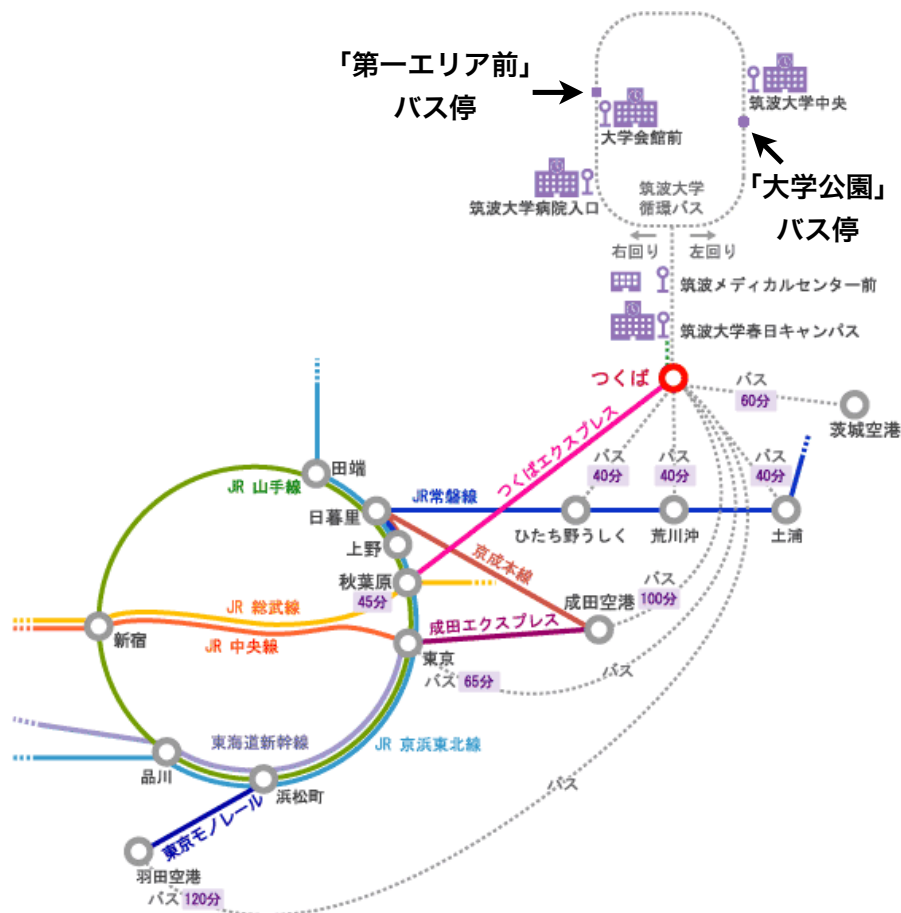
趣 旨：「はやぶさ」などの宇宙探査、「すばる」、「すざく」などの観測装置がもたらす最新の成果に注目が集まる昨今、日本天文学会では年会開催時に、専門研究者以外の方を対象とした講演会を開催しております。今回は、4つの興味深いテーマを取り上げ、第一線で活躍されている研究者の方々に、最先端の研究のお話とこれまでのご経歴やご苦労などのお話を通して「宇宙探求への道」についてご紹介していただきます。

最初の講演では、実験棟「きぼう」の活動が本格化してきた国際宇宙ステーションの全貌と今後の宇宙開発について、JAXAの佐藤直樹領域リーダーにご紹介いただきます。2番目の講演では、太陽系の惑星ならびに、太陽系外で見つかった500個にも達する惑星がどのようにしてできたのか、コンピューターを用いてこの謎に迫る研究を、国立天文台の小久保英一郎准教授にご紹介いただきます。3番目の講演では、この宇宙はそもそもどのようにして始まったのか。多くの人が興味をそそられるこの壮大なテーマについて、大阪市立大学の中尾憲一教授に、一般相対性理論に基づく宇宙の始まりについてご紹介していただきます。4番目の講演では、地上の最高の観測条件を求め、究極の宇宙観測とも言うべき南極大陸から宇宙を観る計画を筑波大学の中井直正教授にご紹介いただきます。いずれも、最先端の大変興味深いテーマです。奮ってご参加下さい。

申 込：事前の参加申し込みは不要。当日、会場にて受付して下さい。入場無料。

ただし、定員1000名を越える場合には入場制限をすることがあります。

春季年会会場（筑波大学・つくばキャンパス・第一エリア） のご案内



交通案内

会場は筑波大学・つくばキャンパス・第一エリアです。各種交通機関にて『つくばセンター（バスターミナル）』までお越し後、筑波大学行きのバスへご乗車ください（所要時間約10分）。『つくばセンター』バス乗り場6から「筑波大学中央」または「筑波大学循環（右回り）」行きのバスに乗車、「第一エリア前」で下車。「筑波大学循環（左回り）」の場合は「大学公園」で下車。

* つくばエクスプレス (TX)

秋葉原駅からつくば駅まで快速で約45分。つくば駅A3, A4出口からつくばセンター（バスターミナル）に直結

* 東京駅から高速バス

「つくばセンター」行きへ乗車。所要約1時間5分。筑波大学直通便も運行。東京駅八重洲南口の高速バスターミナルから「筑波大学」行きで「大学会館」下車。所要時間は約1時間15分。

* JR常磐線

ひたち野うしく駅、土浦駅、荒川沖駅から「つくばセンター」行きのバスが運行。所要時間約40分。大学まで乗り継ぎなしの便あり。「筑波大学中央」行きに乗車し、「第一エリア前」下車。

* 羽田、及び成田空港

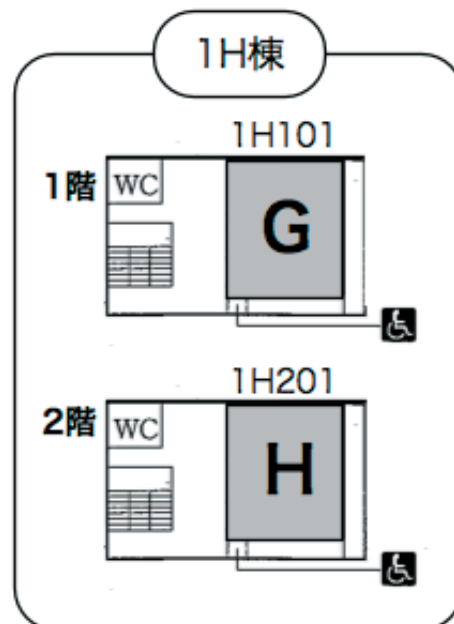
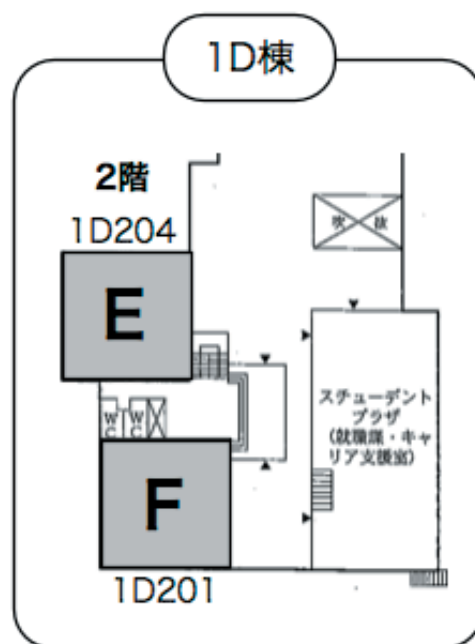
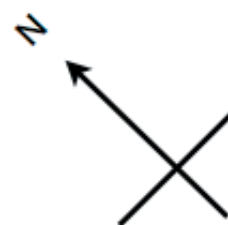
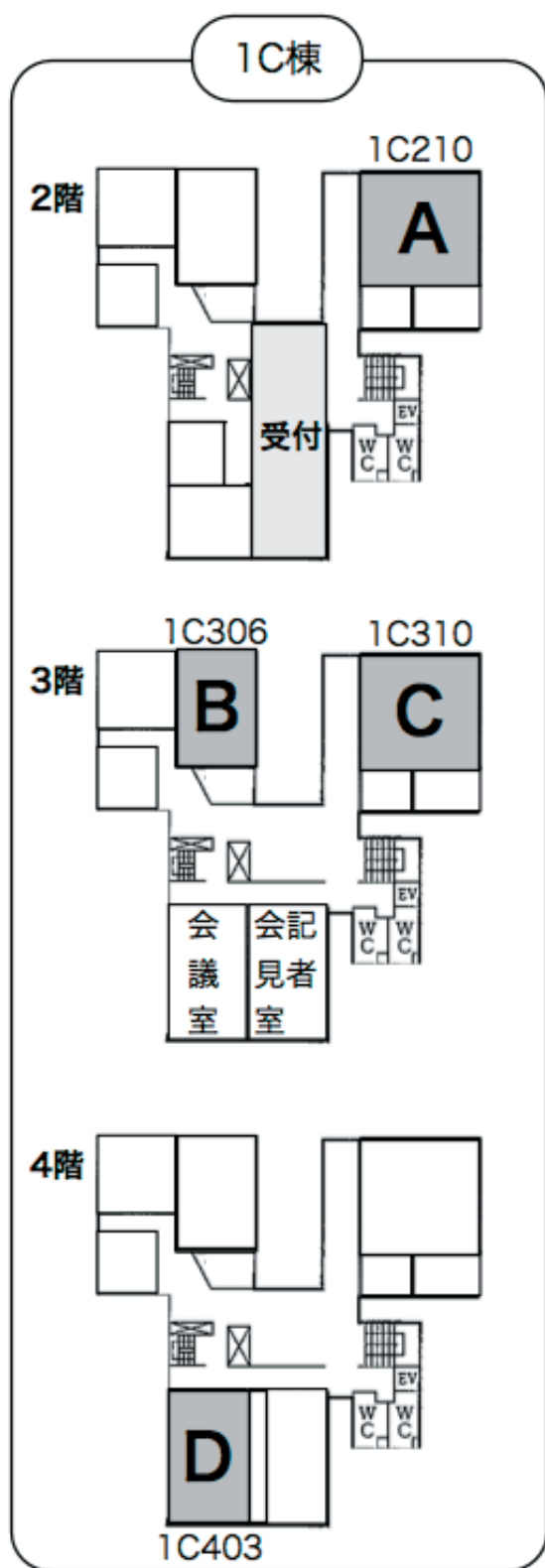
「つくばセンター」行き、高速バスあり。

キャンパスマップ

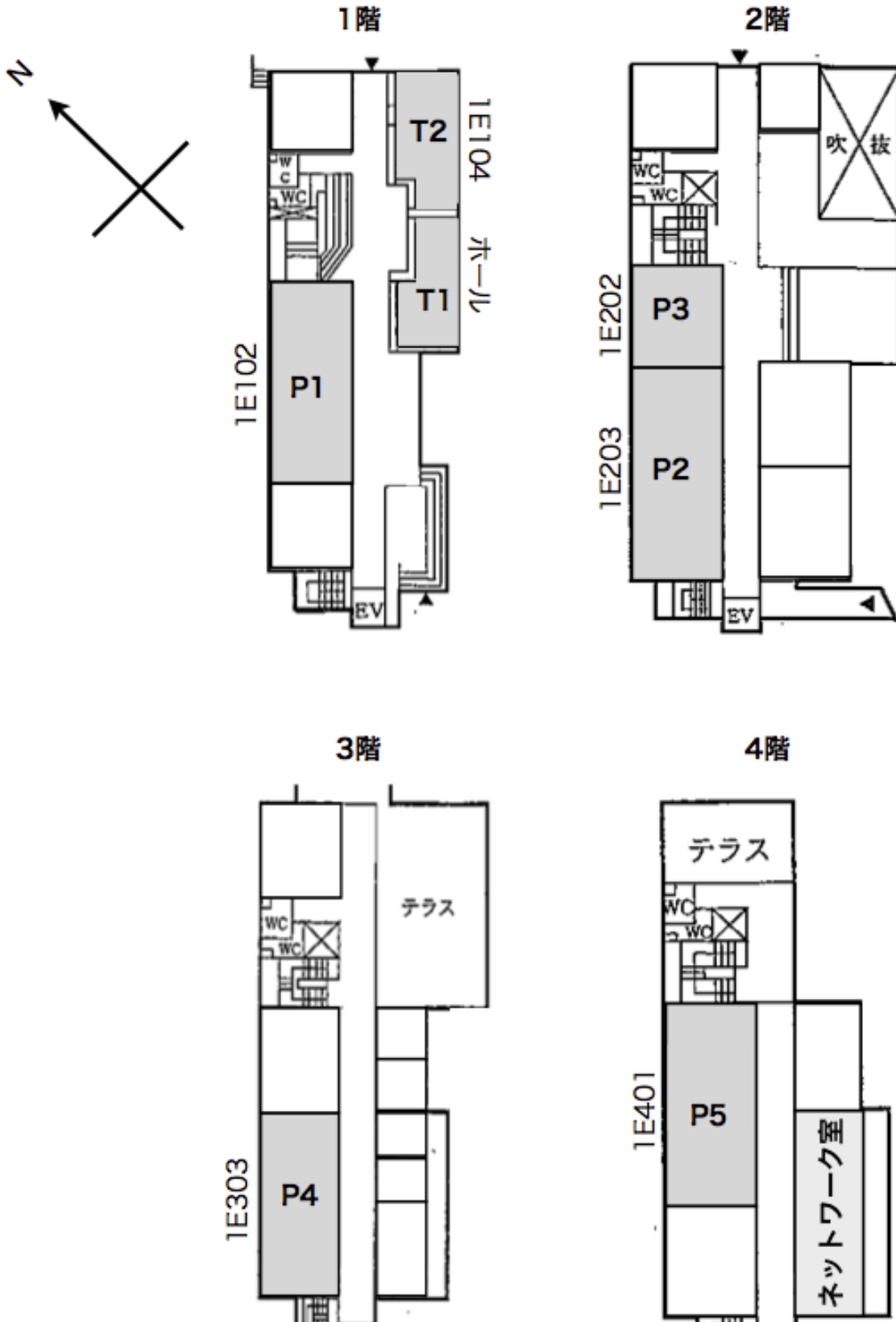


- 会場は筑波大学第一エリアです。
- 最寄りのバス停は「筑波大学中央」行き、「筑波大学循環（右回り）」の場合は『第一エリア前』, 「筑波大学循環（左回り）」の場合は『大学公園』です。
- 受付は「1C棟」2階です。『第一エリア前』及び『大学公園』バス停から案内板で誘導致します（『第一エリア前』からは1E, 1D棟内部を通過）。
- 「1C, 1D, 1H棟」が講演会場, 「1E棟」がポスター会場となります。
- 総会・懇親会は「大学会館」で行います。

講演会場 (1C, 1D, 1H棟) 案内図



ポスター会場 (1E棟) 案内図



口頭セッション 3月16日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
開始時刻	【超新星爆発】	【太陽系】	【銀河団】	【銀河核】	【銀河形成】	【高密度星】	【教育・他】	【星・惑星】
13:00	K01a	L01a	T01a	S01a	X01a	J01a	Y01a	P01a
13:12	K02a	L02a	T02a	S02a	X02a	J02a	Y02a	P02a
13:24	K03a	L03a	T03a	S03a	X03a	J03b - J05b	Y04b - Y06b	P03a
13:36	K04a	L04a	T04a	S04a	X04a	J06a	Y07a	P04a
13:48	K05a	L06a	T05a	S05a	X05a	J07a	Y09a	P05a
14:00	K06a	L07a	T06a	S06a	X07b - X09b	J08a	Y11a	P06a
14:12	K07a	L08a	T07a	S07a	X11a	J09a	Y12a	P07a
14:24	K08a	L09a	T08a	S08b, S09b S11b	X12a	J10a	Y13a	P08a
14:36	K09a	L12a	T09a	S12a	X13a	J11a	Y14a	P09b - P11b
14:48	K12a	L13a	T10b	-	X14a	J13a	Y15b - Y17b	-
15:00	K13b - K15b	L14b - L16b	-	-	-	J14b, J15b	Y19b	-
15:15	ALMA 特別セッション (H会場)							
16:45	天文教育フォーラム (H会場)							
18:30	理 事 会							

口頭セッション 3月17日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
開始時刻	【地上観】	【飛翔観】	【銀河】	【銀河核】	【銀河形成】	【高密度星】	【教育・他/ 恒星】	【星・惑星】
09:30	V01a	W01a	R01a	S13a	X15a	J17a	Y21a	P13a
09:42	V02a	W02a	R02a	S14a	X16a	J18a	Y23a	P14a
09:54	V03a	W03a	R03a	S15a	X17a	J19a	Y24a	P15a
10:06	V04a	W04a	R04a	S16a	X18a	J20a	Y25b, Y26b Y30b	P16a
10:18	V05a	W05a	R05a	S17a	X19a	J21a	Y32b - Y34b	P17a
10:30	V06a	W06b-W08b	R06a	S18a	X20b, X21b X23b	J22a	N01a	P18a
10:42	V07a	W09a	R07a	S19a	X24b - X26b	J23a	N02a	P19a
10:54	V08a	W10b-W12b	R08a	S20a	X27a	J24a	N03a	P20a
11:06	V09a	W13a	R09b, R10b	S21b - S23b	X28a	J25a	N04a	P21b - P23b
11:18	V10a	W16a	R11a	-	X29a	J26a	N05a	P24b - P26b
11:30	V11b - V13b	W17b, W18b	-	-	-	J27b, J29b J30b	N06b	P27b
11:42	V14b - V16b	-	-	-	-	J31b	-	-
11:54	V17b	-	-	-	-	-	-	-
11:30	ポスター							
12:30	昼休み(評議員会)							
開始時刻	【地上観】	【飛翔観】	【銀河】	【銀河核】	【銀河形成/ 太陽】	【高密度星】	【恒星】	【星・惑星】
13:30	V18a	W19a	R12a	S24a	X30a	J32a	N07a	P30a
13:42	V19b - V21b	W20a	R13a	S25a	X31a	J33a	N08a	P31a
13:54	V22a	W21b-W23b	R14a	S26a	X32a	J34a	N09a	P32a
14:06	V23a	W25a	R15a	S27a	X33a	J35a	N10a	P33a
14:18	V24a	W26a	R16a	S28a	X34a	J36a	N11b, N12b N15b	P34a
14:30	V25a	W27a	R17a	S29a	M01a	J37a	N16a	P35a
14:42	V26a	W28a	R18a	S30a	M02a	J38a	N17a	P36a
14:54	V27a	W29b-W31b	R19a	S31a	M03a	J39a	N18a	P37a
15:06	V28a	W33a	R20a	S32b - S34b	M04a	J40a	N19a	P38b - P40b
15:18	V29a	W34a	R21a	S35b	M05a	J41a	N20a	P41a
15:30	総会(大学会館)							
17:00	林忠四郎賞受賞記念講演(大学会館)							
18:00	懇親会(大学会館)							

口頭セッション 3月18日(金)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	
開始時刻	【地上観】	【飛翔観】	【銀河/星間】	【宇宙論】	【太陽】	【高密度星】	【共進化】	【星・惑星】	
09:30	V30a	W35a	R23a	U01a	M06a	J42a	A01a) A08a	P42a	
09:42	V31b - V33b	W36b-W38b	R24a	U02a	M07a	J43a		P43a	
09:54	V34a	W39a	R25a	U03a	M08a	J45a		P44a	
10:06	V35b - V37b	W40b-W42b	R26a	U04a	M09a	J46b - J48b		P45a	
10:18	V38a	W43b-W45b	Q01a	U05a	M10a	J49a		P46a	
10:30	V39b - V41b	W46b-W48b	Q02a	U06a	M11a	J50a		P48a	
10:42	V45a	W49b-W51b	Q03a	U07a	M12b-M14b	J51a		P50b - P52b	
10:54	V46a	W52a	Q04a	U08a	M15b-M17b	J52a		P53b - P55b	
11:06	V47b - V49b	W53a	Q05a	U09b - U11b	M18b-M20b	J53b - J55b		P56b - P58b	
11:18	V50b	W54a	Q06b - Q08b	U12b, U13b	M21b	-		P59b - P61b	
11:30	-	W55b	Q09b - Q11b	-	M23a	-		-	
11:42	-	-	Q12b, Q13b	-	-	-		-	
11:30	ポスター								
12:30	昼休み								
開始時刻	【地上観】	【飛翔観】	【星間】	【宇宙論】	【太陽】	【高密度星】	【共進化】	【星・惑星】	
13:30	V51b - V53b	W56a	Q14a	U15a	M24a	J57a	A09a) A17a	P62a	
13:42	V54a	W57a	Q15a	U16a	M25a	J58a		P63a	
13:54	V55b, V58b V59b	W58a	Q16a	U17a	M26a	J59a		P64a	
14:06	V60a	W59a	Q17a	U18a	M27a	J60a		P67a	
14:18	V61a	W60a	Q18a	U19a	M28a	J61a		P68a	
14:30	V62a	W61a	Q19a	U20a	M29a	J62a		P69a	
14:42	V63b - V65b	W62a	Q20a	U21a	M30a	J63a		P70a	
14:54	V66b - V68b	W63a	Q21a	U22a	M31a	J64a		P71a	
15:06	V69b - V71b	W64a	-	U23a	M32a	J65a		-	
15:18	V72b - V74b	W65a	-	U24a	M33a	-		-	
15:45	研究奨励賞受賞記念講演 (H会場)								
16:45	LCGT 特別セッション (H会場)								

口頭セッション 3月19日(土)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
開始時刻	【地上観】	【飛翔観】	【星間】	【宇宙論】	【太陽】	【高密度星】	【共進化】	
09:30	V75a	W66a	Q22a	U25a	M34a	J66a	A18a S A29b	ジュニア セッション
09:42	V76a	W67a	Q23a	U26a	M35a	J67a		
09:54	V77a	W68a	Q24a	U27a	M36a	J68a		
10:06	V78a	W69a	Q25a	U28a	M37a	J69a		
10:18	V79a	W70a	Q26a	U29a	M38a	J70a		
10:30	V80a	W71a	Q27a	U30a	M39a	-		
10:42	V81a	W72a	Q28a	U31a	M40a	-		
10:54	V82a	-	Q29a	U32a	M41a	-		
11:06	V83a	-	Q30a	U33a	M42a	-		
11:18	V84a	-	Q31a	U34a	M43a	-		
11:30	V85a	-	Q32a	U35a	M44a	-		
11:42	-	-	-	-	M45a	-		
11:30	ポスター							
12:30	昼休み							

ポスターセッション 3月16日(水) ~ 3月19日(土)

ポスター会場 1

【ジュニアセッション】

ポスター会場 2

【共進化】(2)

A28b A29b

【高密度星】(20)

J03b J04b J05b J12c J14b
 J15b J16c J27b J28c J29b
 J30b J31b J44c J46b J47b
 J48b J53b J54b J55b J56c

【新星爆発】(5)

K10c K11c K13b K14b K15b

【星・惑星形成】(32)

P09b P10b P11b P12c P21b
 P22b P23b P24b P25b P26b
 P27b P28c P29c P38b P39b
 P40b P47c P49c P50b P51b
 P52b P53b P54b P55b P56b
 P57b P58b P59b P60b P61b
 P65c P66c

【星間現象】(8)

Q06b Q07b Q08b Q09b Q10b
 Q11b Q12b Q13b

【PDL】

【最新情報コーナー】

ポスター会場 3

【天文教育・他】(23)

Y03c Y04b Y05b Y06b Y08c
 Y10c Y15b Y16b Y17b Y18c
 Y19b Y20c Y22c Y25b Y26b
 Y27c Y28c Y29c Y30b Y31c
 Y32b Y33b Y34b

ポスター会場 4

【太陽系】(6)

L05c L10c L11c L14b L15b
 L16b

【太陽】(11)

M12b M13b M14b M15b M16b
 M17b M18b M19b M20b M21b
 M22c

【恒星】(7)

N06b N11b N12b N13c N14c
 N15b N21c

【地上観測機器】(46)

V11b V12b V13b V14b V15b
 V16b V17b V19b V20b V21b
 V31b V32b V33b V35b V36b
 V37b V39b V40b V41b V42c
 V43c V44c V47b V48b V49b
 V50b V51b V52b V53b V55b
 V56c V57c V58b V59b V63b
 V64b V65b V66b V67b V68b
 V69b V70b V71b V72b V73b
 V74b

ポスター会場 5

【銀河】(4)

R09b R10b R22c R27c

【活動銀河核】(12)

S08b S09b S10c S11b S21b
 S22b S23b S32b S33b S34b
 S35b S36c

【銀河団】(1)

T10b

【宇宙論】(6)

U09b U10b U11b U12b U13b
 U14c

【飛翔体観測機器】(34)

W06b W07b W08b W10b W11b
 W12b W14c W15c W17b W18b
 W21b W22b W23b W24c W29b
 W30b W31b W32c W36b W37b
 W38b W40b W41b W42b W43b
 W44b W45b W46b W47b W48b
 W49b W50b W51b W55b

【銀河形成】(12)

X06c X07b X08b X09b X10c
 X20b X21b X22c X23b X24b
 X25b X26b

A. 共進化

3月18日(金) 午前・G会場		3月18日(金) 午後・G会場	
09:30	A01a 共進化問題の現状と展望のレビュー：観測編・20分 谷口義明(愛媛大学)	13:30	A09a 水メーザー観測によるブラックホール質量とバルジ関係・15分 中井直正(筑波大学)
09:50	A02a 共進化問題の現状と展望レビュー：理論編・20分 和田桂一(鹿児島大学)	13:45	A10a 赤方偏移3のSDSSクエーサーで探る超巨大ブラックホール・バルジ関係の宇宙論的進化・12分 諸隈智貴(東京大学)
10:10	A03a SWANS (Subaru Wide-Field AGN Survey): Recent Activities・15分 長尾透(愛媛大学)	13:57	A11a A new method to identify AGNs and the nature of low-luminosity AGNs・12分 田中賢幸(数物連携宇宙研究機構)
10:25	A04a X線観測で探る巨大ブラックホール成長史・15分 上田佳宏(京都大学)	14:09	A12a Probing the faint end of the quasar luminosity function at $z \sim 4$ in the COSMOS field・12分 池田浩之(愛媛大学)
10:40	A05a すばるFMOSで探る共進化・15分 太田耕司(京都大学)	14:21	A13a 最遠方電波銀河の化学進化・12分 松岡健太(愛媛大学)
10:55	A06a 銀河形成と活動銀河中心核：高赤方偏移銀河の観測・15分 山田亨(東北大学)	14:33	A14a JVOを利用したAGNと銀河のクラスタリング解析・12分 白崎裕治(国立天文台)
11:10	A07a ハードX線選択の活動銀河中心核を用いて探る共進化・15分 秋山正幸(東北大学)	14:45	A15a 銀河系 Nuclear Star Cluster 内の早期型星の分布・12分 西山正吾(京都大学)
11:25	A08a ガス降着による超巨大ブラックホール形成理論の現状と今後の課題・15分 川勝望(筑波大学)	14:57	A16a 銀河系中心領域に埋もれた超大質量星団の間接的検出・12分 岡朋治(慶應義塾大学)
		15:09	A17a 近傍高光度クエーサー AKARI J1757+5907からのアウトフロー・12分 青木賢太郎(国立天文台)

3月19日(土) 午前・G会場		
09:30	A18a 赤外線天文衛星「あかり」中間赤外線全天サーベイによる活動銀河核探査:「あかり」近赤外線分光フォローアップ観測・12分 大藪進喜(名古屋大学)	
09:42	A19a 「あかり」によるULIRGs/AGNsの近中間赤外分光観測・12分 白旗麻衣(宇宙航空研究開発機構)	
09:54	A20a 電波で明るいBALクェーサーのVLBAによる多周波偏波観測・12分 林 隆之(東京大学)	
10:06	A21a 衝突する直前のバイナリブラックホールの検出・12分 須藤広志(岐阜大学)	
10:18	A22a 大質量ブラックホール連星の離心率進化・12分 岩澤全規(ライデン大学)	
10:30	A23a 非軸対称銀河ポテンシャル中における連星ブラックホールの進化・12分 横山貴士(筑波大学)	
10:42	A24a 大質量ブラックホール多体系におけるブラックホールの成長と銀河の進化・12分 谷川 衝(筑波大学)	
10:54	A25a 合体による星団の進化と中間質量ブラックホールの形成・12分 藤井通子(鹿児島大学/Leiden Observatory)	
11:06	A26a 棒状銀河中心領域におけるガスダイナミクスと星形成・12分 馬場淳一(国立天文台)	
11:18	A27a 準解析的銀河・QSO形成ハイブリッドモデルの構築・12分 榎 基宏(東京経済大学)	
11:30	A28b 小型JASMINEによる銀河系バルジ観測・3分 矢野太平(国立天文台)	
11:33	A29b サブミリ波VLBIによる、強重力場での相対論検証計画・3分 三好 真(国立天文台)	

J. 高密度星

3月16日(水) 午後・F会場		3月17日(木) 午前・F会場	
13:00	J01a 古典新星 V2491Cygni からの硬 X 線放射の起源 鈴木昭宏 (東京大学)	14:48	J13a XMM-Newton による CXOU J171405.7 - 381031 の観測 佐藤拓郎 (首都大学東京 / 宇宙航空研究開発機構)
13:12	J02a 食のある SU UMa 型矮新星 HT Cas の superoutburst における連続測光観測 大島誠人 (京都大学)	15:00	J14b すざく衛星による突発天体 XMMU J174716.1-281048 の観測 轟章太郎 (立教大学)
13:24	J03b WZ Sge 型矮新星 SDSS J080434.20+510349.2 の superoutburst における可視連続測光観測 大島誠人 (京都大学)	15:00	J15b LMXB ASAS150946-2147.7 の可視分光観測 石岡涼子 (国立天文台)
13:24	J04b WZ Sge 型矮新星 SDSS J080434.20+510349.2 の 2 色同時測光観測 磯貝瑞希 (京都産業大学)		J16c X 線連星 SAX J2103.5+4545 の 2010 年の増光の可視測光観測 清田誠一郎 (VSOLJ)
13:24	J05b 酸素禁制線の形状から探る新星 KT Eri の放出物質の分布 新井 彰 (京都産業大学)	09:30	J17a 全天 X 線監視装置 MAXI による MAXI J1659-152 の発見と「すざく」による追観測 根来 均 (日本大学)
13:36	J06a 「すざく」による強磁場激変星 V2487 Oph と IGR J00234+6141 の観測 寺田幸功 (埼玉大学)	09:42	J18a RXTE 衛星によるブラックホール新星 MAXIJ1659 - 152 の X 線フォローアップ観測 山岡和貴 (青山学院大学)
13:48	J07a 強磁場を伴った白色矮星の磁場構造 藤澤幸太郎 (東京大学)	09:54	J19a ブラックホール候補天体 MAXI J1659 - 152 の可視光観測 河合誠之 (東京工業大学)
14:00	J08a 磁場を伴う中性子星とガス円盤の系の一般相対論的な定常構造 藤井亮治 (東京大学)	10:06	J20a MAXI、Swift、RXTE による MAXI J1409-619 の観測 中島基樹 (日本大学)
14:12	J09a 定常磁場星の新しい厳密解 川村拓夢 (東京大学)	10:18	J21a MAXI によって初めて検出された Be X 線連星 LS V +44 17 のアウトバースト II 薄井竜一 (東京工業大学)
14:24	J10a Magnetar Asteroseismology with Gravitational Waves 檜山和己 (京都大学)	10:30	J22a X 線連星パルサー GX 304-1 からのサイクロトロン共鳴吸収線の発見 山本堂之(日本大学 / 理化学研究所)
14:36	J11a 中性子星からストレンジ星への転換 眞田貴央 (早稲田大学)	10:42	J23a 「かにパルサー」の X 線パルス波形 : かに星雲のガンマ線フレア時の MAXI による観測 森井幹雄 (東京工業大学)
	J12c 高密度星内部におけるカラー超伝導の可能性 野田常雄 (九州大学)		

10:54	J24a	全天 X 線監視装置 MAXI によるマグネターの観測 中川友進 (理化学研究所)	14:18	J36a	「すざく」と IRSF によるブラックホール連星 GX 339-4 の観測 志達めぐみ (京都大学)
11:06	J25a	全天 X 線監視装置 CCD カメラ (MAXI/SSC) で観測したブラックホール・中性子連星系 富田 洋 (宇宙航空研究開発機構)	14:30	J37a	Resonant Excitation of Disk Oscillations in Deformed Disks: An Alternative Method 加藤正二
11:18	J26a	全天 X 線監視装置 MAXI の突発天体発見システムの改良と成果 小澤洋志 (日本大学)	14:42	J38a	Causal Dissipative Hydrodynamics : Analytically and Numerically Manageable Formulation beyond Israel-Stewart Formalism 斉田浩見 (大同大学)
11:30	J27b	全天 X 線監視装置 MAXI による X 線連星パルサー A0535+262 の観測 五月女哲哉 (芝浦工業大学 / 理化学研究所)	14:54	J39a	降着円盤ダイナモの大局的3次元磁気流体数値実験 松元亮治 (千葉大学)
	J28c	MAXI 速報システムの改良とこの半年間の成果 諏訪文俊 (日本大学)	15:06	J40a	Sub-Eddington 円盤の大局的輻射磁気流体シミュレーション ; 光度と内縁半径の時間変動 大須賀健 (国立天文台)
11:30	J29b	MAXI による古典新星の検出可能性について 島ノ江 純 (九州大学)	15:18	J41a	円盤風を加味した超臨界降着モデルでの SS433 の光度曲線の計算 龍野洋平 (大阪教育大学)
11:30	J30b	「すざく」によるブラックホール天体 GX339-4 の very high state の観測 田村愛美 (芝浦工業大学)	3月18日 (金) 午前・F会場		
11:42	J31b	はくちょう座 X-1 の吸収ディップ II 水野瑛己 (立教大学)	09:30	J42a	Colliding-wind simulations of the TeV gamma-ray binary B1259-63/SS 2883 岡崎敦男 (北海学園大学)
3月17日 (木) 午後・F会場			09:42	J43a	多波長光度曲線を用いたパルサーの放射領域の研究 木坂将大 (広島大学)
13:30	J32a	MAXI/GSC と Swift/BAT によるブラックホール X 線連星ハード状態の観測 中平聡志 (青山学院大学)		J44c	パルサーキック速度のモデル 小島康史 (広島大学)
13:42	J33a	わが銀河系中心部巨大ブラックホール・バイナリー群——デカメータ波電波観測に基づく発見 大家 寛 (東北大学)	09:54	J45a	「すざく」衛星搭載 HXD による Crab の変動追跡 神頭知美 (埼玉大学)
13:54	J34a	バルクコンプトン効果によるブラックホール超臨界降着流の輻射スペクトル硬化 川島朋尚 (千葉大学)	10:06	J46b	Simultaneous observations of radio and X-ray pulses from the Crab Pulsar 永田久美子 (東京工業大学)
14:06	J35a	ブラックホール—降着円盤における非軸対称不安定性と重力波 木内建太 (京都大学)			

10:06	J47b	中性子星磁気圏の大局的数値シミュレーション 和田智秀 (国立天文台)	13:54	J59a	ガンマ線バーストのプロトマグネターモデル 松本 仁 (京都大学)
10:06	J48b	HESS J1616 – 508 の近傍のパルサー PSR J1617 – 5055 の X 線観測 松本浩典 (名古屋大学)	14:06	J60a	ガンマ線バーストの放射機構：乱れた磁場中を運動する相対論的粒子からの放射 寺木悠人 (大阪大学)
10:18	J49a	すざくによる Fermi 新ガンマ線パルサーの X 線対応天体の観測 榎本雄太 (東京工業大学)	14:18	J61a	ガンマ線バーストにおける陽子加速と電子・陽電子対注入 浅野勝晃 (東京工業大学)
10:30	J50a	「すざく」衛星による高銀緯フェルミ未同定天体の X 線探査 (II) 高橋洋輔 (早稲田大学)	14:30	J62a	大質量降着円盤における対流運動の効果とガンマ線バーストへの応用 川中宣太 (高エネルギー加速器研究機構)
10:42	J51a	ガンマ線バースト偏光検出器 GAP による GRB の偏光度測定 米徳大輔 (金沢大学)	14:42	J63a	相対論的衝撃波における乱流磁場増幅の3次元 RMHD シミュレーション 井上剛志 (青山学院大学)
10:54	J52a	次世代チェレンコフ望遠鏡 CTA で期待される GRB 検出率 格和 純 (広島大学)	14:54	J64a	超高エネルギー宇宙線の起源：GRB アウトフローにおける元素合成 柴田三四郎 (甲南大学)
11:06	J53b	「すざく」衛星搭載の広帯域全天モニタ WAM による GRB カタログの構築 西岡祐介 (宮崎大学)	15:06	J65a	X型点における相対論的磁気リコネクション 加藤祐悟 (広島大学)
11:06	J54b	GRB 100901A にみられた X 線と同期した可視残光 黒田大介 (国立天文台)	3月19日(土) 午前・F会場		
11:06	J55b	ガンマ線バーストの一般相対論的 MHD シミュレーション：磁気タワー構造の形成 眞榮田義臣 (京都大学)	09:30	J66a	相対論的抵抗性 MHD 方程式の因果律 小出眞路 (熊本大学)
	J56c	X線バーストに対して 3α 核反応率が与える影響 辻本英之 (九州大学)	09:42	J67a	相対論磁気リコネクションの磁気流体シミュレーション 銭谷誠司 (NASA Goddard Space Flight Center)
3月18日(金) 午後・F会場			09:54	J68a	相対論的ジェットにおけるキンク不安定性の影響 水野陽介 (Univ. of Alabama, Huntsville)
13:30	J57a	ガンマ線バースト中心エンジンについての理論的研究 長滝重博 (京都大学)	10:06	J69a	磁気流体ジェットと HI ガスの相互作用 II 朝比奈雄太 (千葉大学)
13:42	J58a	コラプサー起源のガンマ線バーストジェットからの熱的放射 (2) 水田 晃 (高エネルギー加速器研究機構)	10:18	J70a	高速回転ブラックホール付近での天体の高速衝突 原田知広 (立教大学)

K. 超新星爆発

3月16日(水) 午後・A会場	
13:00	K01a 大質量星の重力崩壊コアにおける原子核存在比を含む状態方程式 古澤 峻 (早稲田大学)
13:12	K02a 重力崩壊型超新星爆発における3次元ニュートリノ輻射輸送計算 住吉光介 (沼津工業高等専門学校)
13:24	K03a ニュートリノ加熱機構における重力崩壊型超新星の爆発エネルギーの評価 山本 佑 (早稲田大学)
13:36	K04a 拡散近似ニュートリノ輸送による球対称超新星爆発の長時間シミュレーション 菊地英仁 (東京理科大学)
13:48	K05a 超新星爆発メカニズムにおけるニュートリノ集団振動の効果 諏訪雄大 (京都大学)
14:00	K06a 定在降着衝撃波不安定性により誘発された重力崩壊型超新星爆発における爆発的要素合成 3 – 初代大質量星 藤本信一郎 (熊本高専)
14:12	K07a 電子捕獲超新星と鉄より重い元素の起源 和南城伸也 (ミュンヘン工科大学)
14:24	K08a FailedSN,GRB の寄与と超新星 T ₉ を考慮した SRN エネルギースペクトル予測 鈴木重太朗 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)
14:36	K09a GRB における 2ndary jet からの X-ray Flares 長倉洋樹 (早稲田大学)
	K10c 原子核パスタと曲率効果 中里健一郎 (京都大学)
	K11c 星周物質分布の違いを考慮した超新星残骸中の流体不安定性に伴う物質混合 松尾康秀 (九州大学)
14:48	K12a 極めて明るい Ia 型超新星 SN 2009dc の後期観測 山中雅之 (広島大学)
15:00	K13b 非常に赤い Type IIb SNe 2010gi の早期観測 奥嶋貴子 (広島大学)
15:00	K14b HST アーカイブ画像を用いた超新星 2010jl の親星探索 佐藤匡史 (九州大学)
15:00	K15b SN 1948B progenitor mass from integral field spectroscopy of the environment Hanindyo Kuncarayakti (Institute of Astronomy, the University of Tokyo)

L. 太陽系

3月16日(水) 午後・B会場		
13:00	L01a 「はやぶさ」地球帰還時の光学望遠鏡による観測とその軌道解析 吉川 真 (宇宙航空研究開発機構)	14:48 L13a トロヤ群天体と太陽系の起源と軌道進化 Ptryk Sofia Lykawka (近畿大学)
13:12	L02a 地球近傍小惑星の接近傾向と流星観測の展望 藤井大地 (大阪教育大学)	15:00 L14b 天王星不規則衛星の光度変化観測 寺居 剛 (神戸大学)
13:24	L03a 小惑星の宇宙風化作用によるカラー変化の解析 野沢由依 (日本女子大学)	15:00 L15b 10月りゅう座流星群(ジャコビニ群)の2011年の極大予報研究 佐藤幹哉 (国立天文台)
13:36	L04a ハートレー第2彗星からもたらされる流星雨の可能性 堀井 俊 (総合研究大学院大学)	15:00 L16b 準惑星ハウメア衝突族の軌道進化:カイパーベルトの歴史への影響 Ptryk Sofia Lykawka (近畿大学)
	L05c 流星痕が2本線形状に見える理由 -画像解析ソフト:マカリを用いた解析- 比嘉義裕 (日本流星研究会)	
13:48	L06a 池谷・村上彗星:メガアウトバーストか? 渡部潤一 (国立天文台)	
14:00	L07a 103P/Hartleyの偏光撮像観測 古荘玲子 (国立天文台)	
14:12	L08a 「あかり」衛星による彗星の近赤外線分光観測:彗星氷中のH ₂ O, CO ₂ , CO存在比 大坪貴文 (東北大学)	
14:24	L09a 「すざく」による太陽活動極小期における火星外圏のX線放射の観測 石川久美 (首都大学東京)	
	L10c 2010年木星南赤道縞攪乱の白斑の明るさの変化について 浅田 正 (九州国際大学)	
	L11c 木星・土星衛星上の生命細胞のサイズとそこでの放射線環境 横尾廣光 (千葉商科大学)	
14:36	L12a Planetary Spectra Libraries Ramsey Lundock (東北大学)	

M. 太陽

3月17日(木) 午後・E会場			
14:30	M01a 音速抑制法を用いた太陽内部対流数値計算の緩和 堀田英之(東京大学)	10:42	M12b フレアにおける17GHzの偏波を用いた電子の運動論 川手朋子(京都大学)
14:42	M02a 磁場反転を記述するモデル 中道晶香(京都産業大学)	10:42	M13b フレアピーク時のループトップ電波源の高さと時間変化の統計解析について 野澤 恵(茨城大学)
14:54	M03a 測定誤差を考慮した放射性炭素14濃度測定による過去の太陽周期 菊地里実(理研仁科センター/埼玉大学)	10:42	M14b 低ベータプラズマ中の磁気リコネクションの衝撃波構造 銭谷誠司(NASA Goddard Space Flight Center)
15:06	M04a 暗部振動で探る第24サイクルの黒点 柴崎清登(国立天文台)	10:54	M15b 太陽大気中を伝播する磁気流体波動の反射について 松本琢磨(名古屋大学)
15:18	M05a 太陽対流層深さ2万kmからの3次元磁束浮上MHD計算 鳥海 森(東京大学)	10:54	M16b 活動領域NOAA 10960でのEUVジェットのEISによる多波長観測 松井悠起(東京大学)
3月18日(金) 午前・E会場			
09:30	M06a 乗鞍コロナ観測所He I 10830 Å偏光観測による磁場診断(II) 大井瑛仁(茨城大学)	10:54	M17b 活動領域のX線ループとEUVループの違い 上田航平(国立天文台/東京大学)
09:42	M07a 太陽フレア望遠鏡とひのでSOT/SPで得られたベクトル磁場データ定量的比較(II) 萩野正興(国立天文台)	11:06	M18b ナノフレアを模したエネルギー注入に対するコロナループの応答I. 北川直優(東京大学)
09:54	M08a 東北大学太陽電波観測のメタデータベース公開とその有用性 岩井一正(東北大学)	11:06	M19b TwistとWritheと磁気ヘリシティ入射量の計算式について 山本哲也(名古屋大学)
10:06	M09a ALMAによるミリ波・サブミリ波帯での太陽観測 下条圭美(国立天文台)	11:06	M20b Coronal Temperature Diagnostic Capability of the Hinode/X-Ray Telescope Based on Self-Consistent Calibration 成影典之(国立天文台)
10:18	M10a Numerical Investigation of the August 22, 2005 CME from Anemone Active Region 10798 Noe Lugaz(Kwasan Observatory, Kyoto University / Institute for Astronomy, University of Hawaii)	11:18	M21b 「ひので」フレアカタログ(II) 渡邊恭子(宇宙航空研究開発機構)
10:30	M11a ストリーマーとコロナ・CME間の相互作用とII型電波バーストの関係 玉澤春史(京都大学)		M22c 野辺山電波ヘリオグラフ科学運用延長期間における研究と施策(1) 増田 智(名古屋大学)
		11:30	M23a 太陽観測衛星SOLAR-C計画V:ワーキンググループの活動進捗報告 常田佐久(国立天文台)

3月18日(金) 午後・E会場		3月19日(土) 午前・E会場	
13:30	M24a 太陽静穏領域における光球面磁極消滅現象頻度の磁束依存性 飯田佑輔 (東京大学)	09:30	M34a On Reconnection in Quiescent Prominences Andrew Hillier (京都大学)
13:42	M25a 太陽表面における磁気対流のパワースペクトル 勝川行雄 (国立天文台)	09:42	M35a 「ひので」X線望遠鏡で観測するEruptive イベント 坂尾太郎 (宇宙航空研究開発機構)
13:54	M26a 水平磁場の観測による太陽静穏磁場の新しい描像 石川遼子 (東京大学 / 国立天文台)	09:54	M36a 「ひので」、SDO、SMART データを用いたモス、H α プラージュの比較研究 吉田憲悟 (立命館大学)
14:06	M27a Excitation of Slow-Modes in Network Magnetic Elements Through Magnetic Pumping 加藤成晃 (宇宙航空研究開発機構)	10:06	M37a 極域X線ジェットとコロナ磁場構造の関係性 佐古伸治 (東海大学)
14:18	M28a Swedish Solar Telescope / CRISP を用いた umbral dot の磁場・速度場の時間変化 渡邊皓子 (京都大学)	10:18	M38a 彩層ジェット足元の光球磁場解析と磁気リコネクションモデル 西塚直人 (宇宙航空研究開発機構)
14:30	M29a Hinode/SOT による浮上磁場領域の統計解析 大辻賢一 (京都大学)	10:30	M39a 2007年6月6日フレア(C9.7)における高温プラズマ生成過程 III. small loop-loop interaction の可能性 渡邊鉄哉 (国立天文台)
14:42	M30a $\beta\gamma\delta$ 型黒点群 NOAA9957 中の磁気中性線上にみられた顕著な下降流 滝澤 寛 (京都大学)	10:42	M40a SDO/AIA による磁気リコネクション領域近傍でのインフローとアウトフローの同時観測 高棹真介 (京都大学)
14:54	M31a 浮上活動による黒点形成：活動性を起こす磁場形状 清水敏文 (宇宙航空研究開発機構)	10:54	M41a Fokker-Planck シミュレーションによるフレア非熱マイクロ波放射分布変動の研究 横山央明 (東京大学)
15:06	M32a フレアトリガとしての上昇磁束の役割について 草野完也 (名古屋大学)	11:06	M42a 高レイノルズ数磁気リコネクション下流域における高エネルギー粒子分布 簗島 敬 (海洋研究開発機構)
15:18	M33a Sunspot Proper Motion and Flare Onset Prediction 末松芳法 (国立天文台)	11:18	M43a 太陽フレアにおける磁気ループ上空と足元の硬X線源の関係 石川真之介 (宇宙航空研究開発機構)
		11:30	M44a 太陽フレアループトップ電波源(2周波)の位置(高度)の時間変化 後藤智子 (名古屋大学)
		11:42	M45a 百 keV 以上のフレア・イベントの硬X線・電波観測によるべき指数と空間分布の特徴解析 川手朋子 (京都大学)

N. 恒星

3月17日(木) 午前・G会場			
10:30	N01a Baの組成変動の起源と化学進化 山田志真子(北海道大学)	14:18	N12b Annual parallax distance and kinematical property of the maser source in IRAS 19312+1950 今井 裕(鹿児島大学)
10:42	N02a 漸近巨星分枝星を用いた銀河考古学 須田拓馬(北海道大学)		N13c 新しい位相補償キャリブレーション解析によるPZ Casの距離測定 楠野こず枝(総合研究大学院大学)
10:54	N03a 中性硫黄の近赤外3重線に基づく金属欠乏星の硫黄組成の振る舞い 比田井昌英(東海大学)		N14c 系内ミラ型星の光度曲線について 板 由房(東北大学)
11:06	N04a 超金属欠乏星の金属量分布 青木和光(国立天文台)	14:18	N15b TMTによって切り拓かれる恒星観測 青木和光(国立天文台)
11:18	N05a ろくぶんぎ座矮小楕円体銀河の超金属欠乏星 S15-19の化学組成 本田敏志(京都大学)	14:30	N16a 「あかり」による褐色矮星の近赤外線分光観測 VI: CO ₂ 分子存在量の元素組成依存性 山村一誠(宇宙航空研究開発機構)
11:30	N06b 低金属量ターンオフ星の重元素組成 伊藤紘子(総合研究大学院大学/国立天文台)	14:42	N17a あかり IRCによる系内惑星状星雲 2-5 μm 分光観測(PNSPC)に基づく3.3 μm PAHバンドの性質 II 大澤 亮(東京大学)
3月17日(木) 午後・G会場			
13:30	N07a マグネターの放射モデル:すざくの観測と光子分裂 柴田晋平(山形大学)	14:54	N18a 大質量星形成領域におけるWolf-Rayet星の探索と星団・物理環境の解明 高橋英則(ぐんま天文台)
13:42	N08a 球状星団によるマイクロレンズ現象 米原厚憲(京都産業大学)	15:06	N19a すばる望遠鏡 COMICSの観測に基づくWR140周囲で形成されたダスト雲の性質と変化 左近 樹(東京大学)
13:54	N09a MOA-I望遠鏡データを用いた重力マイクロレンズ現象によるMACHOs探索と変光星の研究 和田光平(甲南大学)	15:18	N20a WO型Wolf-Rayet連星系WR30aからのX線放射の発見 菅原泰晴(中央大学)
14:06	N10a Be星EW LacのV/R変動期(1976-1985)における円盤の構造 II. 分光モデルへのアプローチ 小暮智一(京都大学 OB)		N21c Cygnus OB2 Associationの長期X線強度変動の調査 吉田正樹(立教大学)
14:18	N11b Be星EW LacのV/R変動期(1976-1985)における円盤の構造 I. 分光データの解析 門 正博(大阪樟蔭女子大学)		

P. 星・惑星形成

3月16日(水) 午後・H会場			P12c Database of Dark Clouds Based on the 2 Micron All Sky Survey on the Web 下井倉ともみ (東京学芸大学)
13:00	P01a 野辺山 45m 鏡星形成レガシープロジェクト I: おおし座分子雲 L1551 における低密度クランプサーベイ 明石俊哉 (東京工業大学)		
13:12	P02a 野辺山 45 m 鏡星形成レガシープロジェクト II おおかみ座星形成領域で発見された重力収縮する分子雲コアについての研究 畔上健太 (東京工業大学)	3月17日(木) 午前・H会場	
13:24	P03a 野辺山 45m 鏡星形成レガシープロジェクト III: 蛇使い座 ρ 分子雲のアウトフロー探査 中村文隆 (国立天文台)	09:30	P13a 「あかり」によるカメレオン領域の広域サーベイ III: FIS による原子雲/分子雲クランプの質量関数 池田紀夫 (宇宙航空研究開発機構)
13:36	P04a 野辺山 45m 鏡星形成レガシープロジェクト IV: オリオン座 L1641-N 領域における誘発的星形成 三浦智也 (新潟大学)	09:42	P14a 「あかり」によるカメレオン領域の広域サーベイ IV: 原子雲と分子雲の密度構造 北村良実 (宇宙航空研究開発機構)
13:48	P05a Serpens south cluster における CO(J=3-2)、HCO ⁺ (J=4-3) 観測 樋口あや (国立天文台)	09:54	P15a 低質量星形成領域 L1527 におけるラインサーベイ観測 坂井南美 (東京大学)
14:00	P06a NRO MAGiC Project: CO(3-2) Deep Survey towards GMCs in M33 三浦理絵 (東京大学 / 国立天文台)	10:06	P16a Spectral Line Survey of RCrA IRS7B in the 350 GHz band with ASTE Watanabe, Yoshimasa (The University of Tokyo)
14:12	P07a 若い大質量原始星に付随する H ₂ O メーザー源 G353.2+0.6 の間欠的強度変動について 元木業人 (北海道大学)	10:18	P17a 低質量分子雲中のファーストコア 富田賢吾 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)
14:24	P08a Atlas and Catalog of Dark Clouds Based on the 2 Micron All Sky Survey 土橋一仁 (東京学芸大学)	10:30	P18a 高分散分光観測による前主系列星の進化タイムスケールの解明 高木悠平 (神戸大学)
14:36	P09b 単一鏡と干渉計のデータ結合手法による B335 分子雲コアの電波観測 黒野泰隆 (国立天文台)	10:42	P19a ダスト熱輻射の偏波から探る双極分子流とジェットの関係について 富阪幸治 (国立天文台)
14:36	P10b コンパス座分子雲の星形成 下井倉ともみ (東京学芸大学)	10:54	P20a Riemann Solver と Alfvén 波の特性曲線法を用いた “Smoothed Particle Magnetohydrodynamics” の開発 岩崎一成 (名古屋大学)
14:36	P11b 大学 VLBI 連携による大質量星形成領域 W43 Main 3 の水メーザー観測 永山 匠 (国立天文台)	11:06	P21b ファーストコアの分子組成進化 古家健次 (神戸大学)
		11:06	P22b 偏光観測を想定した星形成過程における磁力線構造の観測的可視化 片岡章雅 (京都大学)

11:06	P23b	赤外線天文衛星 AKARI による星間氷の空間分布観測 相川祐理 (神戸大学)	14:30	P35a	ぎょしゃ座 AB 星に付随する原始惑星系円盤の高解像度赤外線偏光観測 橋本 淳 (国立天文台)
11:18	P24b	星間衝撃波モデルの構築と分子雲形成過程への応用 青田拓大 (神戸大学)	14:42	P36a	原始惑星系円盤の熱力学において磁気乱流の果たす役割 廣瀬重信 (海洋研究開発機構)
11:18	P25b	IC 1848E 中の象の鼻状構造先端の星一誘発的星形成の第 3 の道 小倉勝男 (国学院大学)	14:54	P37a	主降着期における星周円盤の進化過程 塚本裕介 (東京大学)
11:18	P26b	ブライトリム分子雲の近赤外撮像観測 II 伊藤洋一 (神戸大学)	15:06	P38b	T タウリ型連星 UX Tau に付随する原始惑星系円盤の検出 谷井良子 (神戸大学)
11:30	P27b	偏光観測を用いた銀河系中心における YSO 探査 義川達人 (京都大学)	15:06	P39b	若い大質量星周円盤からの [OI] λ 6300 輝線面分光観測 野村英子 (京都大学)
	P28c	磁場が支配的な分子雲: コア形成時間と磁場の強さ 工藤哲洋 (国立天文台)	15:06	P40b	等質量三体系での階層安定性 齋藤正也 (統計数理研究所)
	P29c	Mid-infrared spectroscopy of SVS13 藤吉拓哉 (国立天文台)	15:18	P41a	惑星形成とオクタブ等価性 新村公剛 (新村公剛公認会計士事務所)
3月17日(木) 午後・H会場			3月18日(金) 午前・H会場		
13:30	P30a	化学反応の不定性を考慮した popIII 星形成 (II) 佐々木 明 (東京大学)	09:30	P42a	微惑星集積の初期段階 道越秀吾 (国立天文台)
13:42	P31a	高密度ダークマター分布が初代星形成に与える影響 平野信吾 (東京大学)	09:42	P43a	高離心率惑星と原始惑星系円盤の相互作用 武藤恭之 (東京工業大学)
13:54	P32a	低金属度ガスの熱進化における初期電離の効果と外部輻射の影響 大向一行 (京都大学)	09:54	P44a	地球型惑星形成の最終段階 小久保英一郎 (国立天文台)
14:06	P33a	さまざまな重元素量をもったガス雲からの磁場の散逸 土井健太郎 (甲南大学)	10:06	P45a	軌道移動により共鳴軌道に捕獲された天体の軌道安定性 松本侑士 (東京工業大学)
14:18	P34a	Herbig Ae 型星に付随する原始惑星系円盤の温度構造 秋山永治 (茨城大学)	10:18	P46a	ガス捕獲段階の木星型惑星における現実的なダストオパシティーと大気構造への影響 敷田文吾 (早稲田大学)
				P47c	GPGPU クラスタによる流体および磁気流体シミュレーション 村主崇行 (京都大学)

10:30	P48a	地球の多バンド測光観測からの表層環境の再構築 藤井友香 (東京大学)	11:18	P61b	系外惑星直接撮像のための高コントラスト光学系の研究 堀江正明 (日本大学 / 国立天文台)
	P49c	系外惑星大気による恒星光の屈折効果2 中本泰史 (東京工業大学)	3月18日(金) 午後・H会場		
10:42	P50b	低金属量下での星周円盤の形成 町田正博 (国立天文台)	13:30	P62a	MOA-IIによる系外惑星探査: 2010年の結果 三宅範幸 (名古屋大学)
10:42	P51b	原始惑星系円盤・周惑星円盤における電離度進化の解析的手法について 藤井悠里 (名古屋大学)	13:42	P63a	低増光率重力マイクロレンズイベントにおける検出効率 鈴木大介 (名古屋大学)
10:42	P52b	内部密度進化を考慮したダストの合体成長と中心星落下 奥住 聡 (名古屋大学)	13:54	P64a	Planetary microlensing event MOA-2010-BLG-328 古澤 圭 (名古屋大学)
10:54	P53b	ダスト層起源の乱流とダスト衝突破壊 竹内 拓 (東京工業大学)		P65c	MOA-2010-BLG-523の隠れた惑星 神原周平 (名古屋大学)
10:54	P54b	円盤風による原始惑星系円盤散逸 - 大局数値実験 - 鈴木 建 (名古屋大学)		P66c	G型巨星における惑星系の日韓共同探査 .VII 大宮正士 (韓国天文研究院)
10:54	P55b	赤色巨星の構造と巨大ガス惑星構造の関係 金川和弘 (北海道大学)	14:06	P67a	傾いた惑星軌道は当たり前? : ロンター効果の観測と理論の現状 平野照幸 (東京大学 / Massachusetts Institute of Technology)
11:06	P56b	内部エネルギーを主要数とする完全保存型数値流体計算法の開発 森 克敬 (名古屋大学)	14:18	P68a	SEEDS プロジェクトでの系外惑星・円盤探査の現状 神鳥 亮 (国立天文台)
11:06	P57b	地球照の偏光観測 高橋 隼 (神戸大学)	14:30	P69a	SEEDS/NS/RV サブカテゴリの現状報告 高橋安大 (総合研究大学院大学)
11:06	P58b	トランジット惑星系のロンター効果を用いた星の差動回転の検出可能性 平野照幸 (東京大学 / Massachusetts Institute of Technology)	14:42	P70a	SEEDSによる Moving Group での直接撮像惑星探査 葛原昌幸 (東京大学)
11:18	P59b	東工大石川台望遠鏡による系外惑星トランジット観測 大貫裕史 (東京工業大学)	14:54	P71a	Second-Earth Imager for TMT (SEIT) の提案: 計画概要と科学的意義 松尾太郎 (国立天文台)
11:18	P60b	新赤外線ドップラー分光器によるサイエンス 佐藤文衛 (東京工業大学)			

Q. 星間現象

3月18日(金) 午前・C会場		3月18日(金) 午後・C会場	
10:18	Q01a つくば32m電波望遠鏡によるM17領域のアンモニア輝線観測 石井 峻 (筑波大学)	11:42	Q12b 暗黒加速器 HESS J1614-518 の中心に位置するX線天体について 酒井理人 (名古屋大学)
10:30	Q02a OMC2/3分子雲と周辺希薄ガスとの境界領域に対する ¹³ CO(1-0)観測 百瀬宗武 (茨城大学)	11:42	Q13b 星間ガスの加熱・冷却を考慮した分子雲ループ形成シミュレーション 鈴木宏聡 (茨城大学)
10:42	Q03a [C]輝線によるオリオン座A分子雲におけるPDR候補領域の観測 島尻芳人 (国立天文台)	3月18日(金) 午後・C会場	
10:54	Q04a Orion KLにおけるねじれ振動第2励起状態のギ酸メチルの同定 酒井祐輔 (富山大学)	13:30	Q14a X線連星SS433方向の直線状分子雲の詳細解析 岡本竜治 (名古屋大学)
11:06	Q05a Phosphor Chemistry in the L1157 Shocked Region 山口貴弘 (東京大学)	13:42	Q15a フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡による超新星残骸「白鳥座ループ」の観測 片桐秀明 (広島大学)
11:18	Q06b 銀河のラインサーベイ観測III: AGN周辺の炭素を含む分子の存在比 中島 拓 (国立天文台)	13:54	Q16a フェルミ・ガンマ線宇宙望遠鏡による超新星残骸G8.7-0.1の観測 花畑義隆 (広島大学)
11:18	Q07b 茨城・上海を含む東アジアVLBI観測網によるメタノール・メーザ観測 藤沢健太 (山口大学)	14:06	Q17a 超新星残骸RX J1713.7-3946におけるTeVガンマ線放射と星間陽子 佐野栄俊 (名古屋大学)
11:18	Q08b 赤外線衛星あかりによる銀河系ダストマップ精度向上を目的としたADF-S探査データの解析 大坪貴文 (東北大学)	14:18	Q18a 超新星残骸から逃げた宇宙線からのガンマ線スペクトル 大平 豊 (高エネルギー加速器研究機構)
11:30	Q09b 「あかり」遠赤外線で探る大質量星クラスタ内の物理環境 小坂 文 (東京大学)	14:30	Q19a 加速された宇宙線の超新星残骸からの脱出について 藤田 裕 (大阪大学)
11:30	Q10b η Carinae Homunculus Nebulaの30ミクロン帯撮像観測 中村友彦 (東京大学)	14:42	Q20a 「すざく」衛星によるTeVガンマ線未同定天体HESS J1503-582の観測 馬場 彩 (ダブリン高等研究所/宇宙航空研究開発機構)
11:30	Q11b 恒星風モデルを考慮した超新星残骸G296.5+10.0の2次元MHD数値シミュレーション 花山秀和 (国立天文台)	14:54	Q21a TeVガンマ線放射の観測されないパルサー星雲の性質 田中周太 (大阪大学)

R. 銀河

3月19日(土) 午前・C会場		3月17日(木) 午前・C会場	
09:30	Q22a ミリ波観測による銀河系中心 Sgr A* の短時間変動 遠藤 渉 (東京大学)	09:30	R01a 演算アクセラレータによる天体物理シミュレーション 中里直人 (会津大学)
09:42	Q23a ASTE10m 望遠鏡による銀河系中心 CI 輝線サーベイ 田中邦彦 (慶應義塾大学)	09:42	R02a The Cosmogrid Simulation: 矮小銀河スケールダークマターハローの統計的性質 石山智明 (国立天文台)
09:54	Q24a 「あかり」による銀河系中心領域の遠赤外線観測 安田晃子 (名古屋大学)	09:54	R03a 球対称定常銀河風の解析: 遷音速解の発見とその条件 土屋聖海 (筑波大学)
10:06	Q25a 「すざく」が明らかにした銀河中心からの中性鉄輝線の起源 信川正順 (京都大学)	10:06	R04a アンドロメダ銀河と矮小銀河の衝突シミュレーション 森 正夫 (筑波大学)
10:18	Q26a 「すざく」による銀河 X 線背景放射 (GRXE) の広帯域スペクトル分解 湯浅孝行 (東京大学)	10:18	R05a 銀河衝撃波に伴う Wiggle Instability の再検討 II 花輪知幸 (千葉大学)
10:30	Q27a 汚染の進んでいない星間物質探査の可能性 釜谷秀幸 (防衛大学校)	10:30	R06a 重力レンズキューサーで探る $z \sim 1$ DLA 銀河の kinematics 濱野哲史 (東京大学)
10:42	Q28a 「あかり」による遠赤外線拡散光全天マッピング VI (チーム内公開とデストライブ処理による画像の質の向上) 田中昌宏 (筑波大学)	10:42	R07a 赤外線銀河における、空間的に広がったポストスターバースト成分の検出 服部 堯 (国立天文台)
10:54	Q29a AKARI Near-Infrared Spectroscopy of $3 \mu\text{m}$ PAH and $4 \mu\text{m}$ PAD features in Galactic Objects 尾中 敬 (東京大学)	10:54	R08a GOALS LIRG の $^{12}\text{CO}(J=1-0)$ 輝線サーベイ 山下拓時 (東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)
11:06	Q30a 「あかり」遠赤外線分光観測で明らかにした LMC 30Dor 付近の星間物質の物理状態 高橋 愛 (名古屋大学)	11:06	R09b Pa α 輝線狭帯域撮像サーベイにより明かされる近傍 LIRGs の性質 館内 謙 (東京大学)
11:18	Q31a SDSS 銀河カタログを用いた銀河系ダスト減光マップの検証 柏木俊哉 (東京大学)	11:06	R10b 山口 32m 望遠鏡による局部銀河群内の 6.7 GHz メタノールメーザー源探査 II 澤田 - 佐藤 聡子 (国立天文台)
11:30	Q32a 星間減光 217.5nm 吸収を示す炭素局所構造 木村誠二 (電気通信大学)	11:18	R11a High angular resolution mid-infrared imaging of the M82 starburst core Gandhi, Poshak (ISAS, JAXA)

3月17日(木) 午後・C会場		3月18日(金) 午前・C会場	
13:30	R12a 近傍銀河 M82 のハロー領域での赤外ダスト輻射の性質 有松 亘 (東京大学)	09:30	R23a NRO M33 All Disk Survey of Giant Molecular Clouds (NRO MAGiC): H _I to H ₂ Transition 濤崎智佳 (上越教育大学)
13:42	R13a 「あかり」による近傍銀河 NGC1313 の赤外線観測～スーパージャイアントシェルで誘発された爆発的星形成の可能性～ 鈴木仁研 (宇宙航空研究開発機構)	09:42	R24a NRO M33 All Disk Survey of Giant Molecular Clouds (NRO MAGiC): 巨大分子雲における高温高密度ガス 小野寺幸子 (国立天文台)
13:54	R14a 「あかり」による近傍銀河 M51 の近・中間赤外線分光観測 森 珠実 (東京大学)	09:54	R25a マゼラン雲方向の 22/43 GHz 帯コンパクト連続波電波源探査 今井 裕 (鹿児島大学)
14:06	R15a 「あかり」と Spitzer による楕円銀河 X 線プラズマ中のダスト・PAH 観測 金田英宏 (名古屋大学)	10:06	R26a 「あかり」で探る炭素星と酸素星の銀河系内での分布と物質循環 石原大助 (名古屋大学)
14:18	R16a 超新星爆発が形成するダストの新しい赤外観測方法 田中雅臣 (東京大学)	R27c 銀河の紫外線波長領域における減光則の検証 池山 輝 (名古屋大学)	
14:30	R17a 重力マイクロレンズ法による、MOA-II 望遠鏡を用いた MACHOs 探索 林 文也 (名古屋大学)		
14:42	R18a ミラ型変光星を用いた銀河系ハロー恒星流の検出 坂本 強 (日本スペースガード協会)		
14:54	R19a セファイド変光星で探る銀河系中心領域の星形成史 松永典之 (東京大学)		
15:06	R20a VERA による 6.7GHz メタノールメーザー源の絶対固有運動計測 松本尚子 (総合研究大学院大学)		
15:18	R21a 太陽近傍の「青い」赤色変光星の特異運動 出口修至 (国立天文台)		
	R22c 近赤外線観測を用いた、近傍銀河の構造評価 藤原麻衣 (名古屋大学)		

S. 活動銀河核

3月16日(水) 午後・D会場		3月17日(木) 午前・D会場	
13:00	S01a 見えない?ブラックホールシャドー! 福江 純 (大阪教育大学)	14:36	S12a 多視線分光観測によるクェーサーアウトフローガス内部構造の解明 三澤 透 (信州大学)
13:12	S02a 高温ブラックホール流の観測的特徴とスペクトル 斉藤秀樹 (大阪教育大学)	3月17日(木) 午前・D会場	
13:24	S03a VERA 43 GHz で探る銀河系中心 Sagittarius A* の構造変動 秋山和徳 (東京大学)	09:30	S13a MAGNUM プロジェクト 近傍1型 Seyfert 銀河の長期紫外スペクトル変動と光度変動機構への示唆 坂田 悠 (東京大学)
13:36	S04a 銀河衝突による活動銀河中心核への影響 三木洋平 (筑波大学)	09:42	S14a MAGNUM プロジェクト :Hot Dust Poor AGN 検出に対する変光の影響 越田進太郎 (東京大学)
13:48	S05a Wandering Blackhole and Andromeda Stellar Stream 濟藤祐理子 (筑波大学)	09:54	S15a 活動銀河核からの近赤外線放射の時間変動モデル 川口俊宏 (筑波大学)
14:00	S06a Broad emission line profiles of rotating disks around binary supermassive black holes in SDSS quasars Hilmy Masyhur (京都大学)	10:06	S16a 赤外線天文衛星「あかり」を用いた活動銀河核探査で見つかった銀河の光度関数 鳥羽儀樹 (総合研究大学院大学 / 宇宙航空研究開発機構)
14:12	S07a 銀河のメジャーマージャーにおける巨大ブラックホール同士の合体過程と近傍活動中心核におけるバイナリーブラックホールの占める割合 早崎公威 (京都大学)	10:18	S17a 近赤外 Pa α 輝線を用いて探る近傍 AGN の広輝線領域 今瀬佳介 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)
14:24	S08b 巨大ブラックホール合体時に放射される重力波の予兆光 早崎公威 (京都大学)	10:30	S18a VLBI による活動銀河 NGC6240 中心核領域の電波イメージング観測 萩原喜昭 (国立天文台)
14:24	S09b 分子輝線冷却を考慮した AGN 降着円盤モデル 甲斐隆志 (熊本大学)	10:42	S19a 水メーザーとX線でさぐる活動的銀河中心核のガス円盤構造 吉田一樹 (筑波大学)
	S10c 移流優勢降着円盤モデルの NGC 4258 への適応 馬場多聞 (熊本大学)	10:54	S20a VLBI 多周波位相補償観測により明らかになった Mrk 348 における自由-自由吸収領域と水メーザーの関係 土居明広 (宇宙航空研究開発機構)
14:24	S11b ラインフォース駆動型円盤風の構造と青方偏移したクェーサー吸収線の起源 野村真理子 (お茶の水女子大学)	11:06	S21b VLBA 多周波同時位相補償観測による NGC 4261 の新しい吸収円盤モデル 羽賀崇史 (総合研究大学院大学 / 宇宙航空研究開発機構)

11:06	S22b	「あかり」赤外線全天サーベイカタログとSwift/BAT硬X線全天サーベイカタログを用いた活動銀河核の光度相関(I) 松田桂子(総合研究大学院大学/宇宙航空研究開発機構)	15:06	S32b	かなた望遠鏡によるブレーザーの可視光-近赤外線フレア間のタイムラグの調査 植村 誠(広島大学)
11:06	S23b	「あかり」赤外線全天サーベイカタログとSwift/BAT硬X線全天サーベイカタログを用いた活動銀河核の光度相関(II) 市川幸平(京都大学)	15:06	S33b	狭輝線電波銀河3C 403、IC 5063の「すざく」による観測 田崎文得(京都大学)
3月17日(木) 午後・D会場			15:06	S34b	すざくが観測した5つのNLS1のワイドバンドスペクトル解析 高橋宏明(大阪大学)
13:30	S24a	Swift/BATサーベイで見つかった新AGNの「すざく」による観測(IV):数値モデルの適用によるトーラス構造の決定 江口智士(京都大学)	15:18	S35b	MAXI/GSC 銀河系外天体カタログ 廣井和雄(京都大学)
13:42	S25a	Geant4による吸収を受けた活動的銀河核のX線スペクトルモデルの適用 加納康史(名古屋大学)		S36c	Classical double radio sources with weak cores 奥平敦也(鹿児島国際大学)
13:54	S26a	かなた望遠鏡によるブレーザーのフレアと偏光度の相関の調査 笹田真人(広島大学)			
14:06	S27a	ブレーザー多波長放射における超高エネルギー宇宙線加速の兆候 井上 進(京都大学)			
14:18	S28a	Fermi/LATによるTeV FSRQ 4C +21.35のGeVガンマ線観測 田中康之(宇宙航空研究開発機構)			
14:30	S29a	ブレーザー1803+784の定在衝撃波と見かけの加速 亀野誠二(鹿児島大学)			
14:42	S30a	1510-089における電波フレアのモニター観測 門田晶子(山口大学)			
14:54	S31a	The Contribution of Gamma-ray Loud Radio Galaxies to the Cosmic Gamma-ray Background 井上芳幸(京都大学)			

T. 銀河団

U. 宇宙論

3月16日(水) 午後・C会場		3月18日(金) 午前・D会場	
13:00	T01a 「すざく」衛星による Abell 1835 銀河団の外縁部の研究 市川和也 (東京理科大学)	09:30	U01a QUIET 実験の初期観測結果 (1) – サイエンスと装置概要 羽澄昌史 (高エネルギー加速器研究機構)
13:12	T02a すざく衛星による Hydra-A cluster のビリアル半径近傍の周辺環境 佐藤拓也 (東京理科大学)	09:42	U02a QUIET 実験の初期観測結果 (2) – スキャンストラテジー 石徹白晃治 (高エネルギー加速器研究機構)
13:24	T03a NGC5044 銀河群の $0.5r_{180}$ までのガスの温度とアバundance 佐々木 亨 (東京理科大学)	09:54	U03a QUIET 実験の初期観測結果 (3) – 観測装置の較正 永井 誠 (高エネルギー加速器研究機構)
13:36	T04a Cosmic web 交差点の X 線探索 : 衝突銀河群 Suzaku J1552+2739 の発見 河原 創 (首都大学東京)	10:06	U04a QUIET 実験の初期観測結果 (4) – データ解析 : 時系列データの処理とマップ作成 長谷川雅也 (高エネルギー加速器研究機構)
13:48	T05a Evolution of Galaxy Light Distributions in Galaxy Clusters. II. 稲田直久 (東京大学)	10:18	U05a QUIET 実験の初期観測結果 (5) – パワースペクトラム推定と宇宙論的解析 茅根裕司 (東北大学)
14:00	T06a ケンタウルス座銀河団中心領域からの Cr, Mn 輝線の検出と Ia 型超新星による重元素合成 松下恭子 (東京理科大学)	10:30	U06a QUIET 実験の初期観測結果 (6) – 系統誤差と今後の展望 田島 治 (高エネルギー加速器研究機構)
14:12	T07a すざく衛星による NGC 2300 銀河群の重元素分布の観測 戸塚 都 (東京理科大学)	10:42	U07a An improved cosmic crystallography method 藤井宏和 (東京大学)
14:24	T08a A Study on Thermal Conditions at the Central Regions of non-cD Clusters of Galaxies (2) Ozden Sengul (University of Tokyo)	10:54	U08a 宇宙膨張論の検証 XMKエーサーの「等級 m - 赤方偏移率 z 」 相関についての考察 (3) 阿武靖彦
14:36	T09a Two-Phase ICM in the Central Region of the Rich Cluster of Galaxies Abell 1795: A Joint Chandra, XMM-Newton, and Suzaku View GU LIYI (Shanghai JiaoTong University (SJTU), University of Tokyo)	11:06	U09b Fine Features in the Primordial Power Spectrum 熊崎亘平 (名古屋大学)
14:48	T10b Unveiling the Gas Dynamics of Dark Group NGC 1407 GU LIYI (Shanghai JiaoTong University (SJTU), University of Tokyo)	11:06	U10b 銀河間磁場のファラデー回転度と ASKAP POSSUM 計画 赤堀卓也 (忠南大学)
		11:06	U11b Time Transfer Function の Robertson-McVittie モデルへの応用 荒木田英禎 (早稲田大学)
		11:18	U12b 電子と陽子の生成とビッグバンの生成 小堀しづ

11:18	U13b 天王星の自転軸が公転面に対して 98 度傾いているのはなぜか。 小堀しづ	3月19日(土) 午前・D会場	09:30	U25a CMB・前景放射偏光成分の分離精度向上のための MHD シミュレーションを用いた銀河系磁場モデルの構築 I 服部 誠 (東北大学)
	U14c 第 1 世代の木星、第 1 世代の土星、第 1 世代の天王星、第 1 世代の海王星 小堀しづ		09:42	U26a Warm Dark Matter の速度分布がスモールスケールの構造に与える影響 鎌田歩樹 (東京大学)
3月18日(金) 午後・D会場			09:54	U27a CMB の弱重力レンズマップの再構築 : 勾配・カール成分の分離法 並河俊弥 (東京大学)
13:30	U15a 相互作用が弱めの長寿命ハドロンによるビッグバン元素合成での ${}^7\text{Be}$ 破壊 日下部元彦 (東京大学)	10:06	U28a 弱重力レンズ効果の高精度測定法の開発 宮武広直 (東京大学)	
13:42	U16a インフレーションによる原始磁場の生成とその検証 渡辺晶明 (京都大学)	10:18	U29a LTBモデルにおけるCMB偏光異方性に対する重力レンズ効果 後藤 孟 (総合研究大学院大学)	
13:54	U17a WMAP 全天偏光分布と銀河磁場との関係について 森嶋隆裕 (東北大学)	10:30	U30a 新しい WeakLensing 解析法 E-HOLICs による systematic error の検証と改善 大倉悠貴 (国立天文台)	
14:06	U18a 背景重力波の直接観測による宇宙再加熱温度の決定 黒柳幸子 (東京大学)	10:42	U31a コピュラを用いた宇宙論パラメタの制限 佐藤正典 (名古屋大学)	
14:18	U19a 銀河衝突による宇宙背景重力波 稲垣貴弘 (名古屋大学)	10:54	U32a 重力マイクロレンズによるワームホール探索 2 阿部文雄 (名古屋大学)	
14:30	U20a 多成分非ガウス原始揺らぎの宇宙大規模構造への影響 西道啓博(東京大学数物連携宇宙研究機構)	11:06	U33a 逆畳み込みを利用した銀河分布のパワースペクトル解析 佐藤貴浩 (広島大学)	
14:42	U21a 銀河分布のスキューネスを用いた初期非ガウス性の観測 新田大輔 (名古屋大学)	11:18	U34a ガリレオン修正重力モデルにおける growth rate と、観測との比較 平野耕一 (一関高専)	
14:54	U22a Effect of kurtosis of primordial non-Gaussianity on the mass function 横山修一郎 (名古屋大学)	11:30	U35a 修正重力による N 体計算と銀河の力学進化 鈴木隆之 (山口大学)	
15:06	U23a Anomalous Underdense Region as the Origin of the CMB Cold Spot 井上開輝 (近畿大学)			
15:18	U24a プランク衛星と超広域前景分子雲観測による宇宙背景放射の研究 山本宏昭 (名古屋大学)			

V. 地上観測機器

3月17日(木) 午前・A会場		11:42	V15b	ALMA 初期運用観測仕様とプロポーザル準備ツール (OT) について: Early Science に向けて 齋藤正雄 (国立天文台)
09:30	V01a			ALMA の建設 (14) 井口 聖 (国立天文台)
09:42	V02a	11:42	V16b	ALMA データ解析ソフトウェア CASA: Early Science のプロポーザル直前対策 樋口あや (国立天文台)
09:54	V03a	11:54	V17b	東アジア ALMA 地域センター Portal/ Helpdesk 谷田貝 宇 (国立天文台)
10:06	V04a			ACA7m アンテナ性能評価試験 6: 高速駆動性能 直井隆浩 (国立天文台)
10:18	V05a			ALMA Band 4 受信機性能の改善 伊藤哲也 (国立天文台)
10:30	V06a			ALMA Band10 受信機開発進捗状況 (VIII) 金子慶子 (国立天文台)
10:42	V07a			ALMA データ解析ソフトウェア CASA の開発 5 - 観測シミュレータ 杉本香菜子 (国立天文台)
10:54	V08a			ALMA コミッショニング: 全体の進捗状況 澤田剛士 (JAO/ 国立天文台)
11:06	V09a			ALMA 最初の初期運用と東アジア地域センターのユーザー支援 奥村幸子 (国立天文台)
11:18	V10a			ALMA の Imaging 性能の定量的評価 清兼和紘 (東京大学)
11:30	V11b			ALMA コミッショニング: アンテナグループの進捗 立原研悟 (JAO/ 国立天文台)
11:30	V12b			ALMA コミッショニング: 観測モード 小麦真也 (JAO/ 国立天文台)
11:30	V13b			ALMA コミッショニング: システム評価 松下聡樹 (JAO/ 台湾中央研究院天文及天文物理研究所)
11:42	V14b			ALMA コミッショニング: Calibration 森田耕一郎 (JAO/ 国立天文台)
		3月17日(木) 午後・A会場		
		13:30	V18a	ALMA-ACA 用 FX 関連器の開発 VII 黒野泰隆 (国立天文台)
		13:42	V19b	ACA 関連器によるファーストFRINGEの検出 鎌崎 剛 (JAO/ 国立天文台)
		13:42	V20b	サブミリ波カメラ実現のための極低温多チャンネル読み出しシステム 日比康詞 (国立天文台)
		13:42	V21b	ASTE 望遠鏡搭載多色連続波カメラの観測におけるスキャンパターンの考察 大友雄造 (東京大学)
		13:54	V22a	Band 8 QM 受信機の ASTE 望遠鏡への搭載 酒井 剛 (東京大学)
		14:06	V23a	ASTE 10 m 望遠鏡での 1.3-1.5 THz 帯分光観測へ向けた受信機開発 椎野竜哉 (東京大学)
		14:18	V24a	加熱成膜を用いた HEB ミクサーの製作 古屋隆太 (東京大学)
		14:30	V25a	超伝導共振器を用いたサブミリ波カメラ用シリコンレンズアレイの開発 新田冬夢 (筑波大学)
		14:42	V26a	南極 30cm サブミリ波望遠鏡の開発 IV 長崎岳人 (筑波大学)

14:54	V27a	1.85m 電波望遠鏡の開発進捗 西村 淳 (大阪府立大学)	10:30	V39b	那須 30m φ 鏡の即応観測システムの 構築と観測 今井章人 (早稲田大学)
15:06	V28a	NMA F 号機の単一鏡化によるミリ波惑 星大気観測プロジェクト 前澤裕之 (名古屋大学)	10:30	V40b	電波トランジェント速報に向けた自動 解析システム 青木貴弘 (早稲田大学)
15:18	V29a	Square Kilometer Array および国内外 における活動 中西裕之 (鹿児島大学)	10:30	V41b	那須パルサー観測所2素子干渉計用 解析ソフトウェアの開発 田中 泰 (早稲田大学)
3月18日(金) 午前・A会場				V42c	8素子空間FFT干渉計 遊馬邦之(早稲田大学/鳩ヶ谷高校)
09:30	V30a	野辺山 45 m 鏡用 100 GHz 帯 2SB 受 信機開発の進捗 IV 中島 拓 (国立天文台)		V43c	FFT プロセッサを用いた 2 素子干渉 計データの評価について 比留間涼太 (早稲田大学)
09:42	V31b	野辺山 45m 望遠鏡 100 GHz 帯受信 機の IF 広帯域化 酒井 剛 (東京大学)		V44c	Crab パルサーのジャイアントパルスの 検出と時刻比較について 岳藤一宏 (情報通信研究機構)
09:42	V32b	野辺山 45m 鏡用 100GHz 帯新マルチ ビーム受信機 Dewar 開発の進捗 片瀬徹也 (大阪府立大学)	10:42	V45a	日韓 VLBI 相関器でのフリンジサーチ ソフトウェア開発と KVN 多周波同時観 測への拡張 大濱伸之 (鹿児島大学)
09:42	V33b	木星シンクロトロン放射の短期時間変 動観測: 木星放射線帯に特徴的な高 エネルギー粒子輸送過程 土屋史紀 (東北大学)	10:54	V46a	VERA 超広帯域観測システムの開発 I 小山友明 (国立天文台)
09:54	V34a	高萩 / 日立 32 m 電波望遠鏡の整備 状況 (4) 米倉覚則 (茨城大学)	11:06	V47b	水沢 10m 電波望遠鏡システムの衛星 データ取得に向けた改良 亀谷 収 (国立天文台)
10:06	V35b	茨城 32 m 鏡搭載用 6.5 - 8.8 GHz 帯 低雑音広帯域受信機システムの開発 滝沢美里 (茨城大学)	11:06	V48b	広帯域電波干渉計観測の画像合成に おける周波数積分 倉山智春 (鹿児島大学)
10:06	V36b	茨城 32m 電波望遠鏡・日立アンテナ の指向誤差 栗橋 潤 (茨城大学)	11:06	V49b	セプタム型円偏波分離器を用いた ASTE 搭載サブミリ波 VLBI 観測用 230 GHz 帯受信機開発の進捗状況 木澤淳基 (大阪府立大学)
10:06	V37b	有限要素法ソフトによるアンテナシミュ レーション (II) 氏原秀樹 (情報通信研究機構)	11:18	V50b	統計的手法による微弱放射電力測定 システムの開発 (高周波数部) 氏原秀樹 (情報通信研究機構)
10:18	V38a	那須電波干渉計後段信号処理の高速化 大師堂経明 (早稲田大学)			

3月18日(金) 午後・A会場			
13:30	V51b タンデム式ファブリペローフィルターを用いた太陽光球磁場観測装置の開発と初期観測 永田伸一(京都大学)	14:42	V63b TAO-3:6.5m 用中間赤外線装置 MIMIZUKU の開発進捗報告 酒向重行(東京大学)
13:30	V52b 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡における広波長域偏光観測システムの開発3 阿南 徹(京都大学)	14:42	V64b TAO-4:6.5m 望遠鏡用近赤外広視野多天体分光器 SWIMS の開発進捗報告 小西真広(東京大学)
13:30	V53b 太陽の高度偏光測光のための高速回転波長板パラメーターの評価 花岡庸一郎(国立天文台)	14:42	V65b 京大岡山 3.8m 新技術望遠鏡の開発 XVI: 主鏡位置制御システム開発の進捗状況 下農淳司(株式会社ナノオプトニクス・エナジー)
13:42	V54a すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: LGS 観測モードの性能評価 早野 裕(国立天文台)	14:54	V66b 可視1露出型偏光撮像器 HOWPol の開発: (6) 広視野モードと器械偏光 小松智之(広島大学)
13:54	V55b すばるレーザーガイド星補償光学系プロジェクト: 齊藤嘉彦(国立天文台)	14:54	V67b かなた望遠鏡可視赤外線同時撮像装置 HONIR 読み出しシステムの開発 中島亜紗美(東京大学/国立天文台)
	V56c すばるレーザーガイド星補償光学系の実時間制御系の開発状況 服部雅之(国立天文台)	14:54	V68b 北海道大学 1.6m 光学赤外線望遠鏡搭載可視分光撮像装置の開発 中尾 光(北海道大学)
	V57c LGSAO188: 新規可変形鏡 BIM188-2 の状況 大屋 真(国立天文台)	15:06	V69b TDI モードを利用した静止スペースデブリ観測 奥村真一郎(日本スペースガード協会)
13:54	V58b 30m 望遠鏡多天体 AO 赤外線分光器の提案: 多天体 AO シミュレーション 秋山正幸(東北大学)	15:06	V70b 木曾 2KCCD カメラで利用するフラットと入射窓に発生する曇りの問題 松永典之(東京大学)
13:54	V59b RAVEN プロジェクトの紹介 大屋 真(国立天文台)	15:06	V71b 可視光高コントラスト撮像装置 FIRST の開発と Lick 望遠鏡での初観測について 小谷隆行(宇宙航空研究開発機構)
14:06	V60a TMT計画アップデート 家 正則(国立天文台)	15:18	V72b 2MASS Catalog Server Kit の開発・公開 山内千里(宇宙航空研究開発機構)
14:18	V61a TAO-1:TAO プロジェクトの進捗状況 土居 守(東京大学)	15:18	V73b 観測シミュレーションデータを用いた Hyper Suprime-Cam データ解析ソフトウェアの開発 山野井瞳(国立天文台)
14:30	V62a TAO-2: 中間赤外線観測装置 MAX38 を用いた 30 μ m 帯地上観測解析手法の開発 浅野健太郎(東京大学)	15:18	V74b Japanese Virtual Observatory の新機能 小宮 悠(国立天文台)

W. 飛翔体観測機器

3月19日(土) 午前・A会場	3月17日(木) 午前・B会場
09:30 V75a CTA 計画と CTA Japan の活動報告 井岡邦仁 (KEK 素核研)	09:30 W01a TMT 超大型望遠鏡主鏡のフルサイズ セグメント鏡の試作 山下卓也 (国立天文台)
09:42 V76a 岡山 188cm 鏡と高分散分光器 HIDES の光ファイバーリンク化計画 III. 試験 観測の状況 神戸栄治 (国立天文台)	09:42 W02a 次世代赤外線天文衛星 SPICA の現 状 (III) 中川貴雄 (宇宙航空研究開発機構)
09:54 V77a Digital Single-Lens Reflex camera による 測光観測と色変換の検証 今村和義 (岡山理科大学)	09:54 W03a SPICA で狙うサイエンス及び搭載焦点 面観測装置の検討状況 松原英雄 (宇宙航空研究開発機構)
10:06 V78a 木曾 2KCCD における広がった天体の ためのフラットフィールド 家中信幸 (東京大学)	10:06 W04a A SPICA far-IR imaging spectrometer SAFARI – current design and its expected performance 土井靖生 (東京大学)
10:18 V79a 木曾観測所次世代広視野カメラ (KWFC) の開発 青木 勉 (東京大学)	10:18 W05a 近中間赤外線用イメージング回折格子 の開発 V – 単結晶 CdTe 材の溝加工 試験結果報告 猿楽祐樹 (宇宙航空研究開発機構)
10:30 V80a 北海道大学 1.6m 光学赤外望遠鏡の ファーストライト観測 渡辺 誠 (北海道大学)	10:30 W06b SPICA 搭載中間赤外線分光撮像装置 の設計 片坐宏一 (宇宙航空研究開発機構)
10:42 V81a 北大 1.6m 新望遠鏡カセグレン焦点に 設置された近赤外線分光装置 “NICE” 館内 謙 (東京大学)	10:30 W07b 次世代赤外線天文衛星 SPICA 搭載 中間赤外中分散エシェル分光部の開 発進捗 左近 樹 (東京大学)
10:54 V82a 地球型惑星検出のための赤外線ドッ プラー分光器の開発 田村元秀 (国立天文台)	10:30 W08b SPICA 望遠鏡搭載バイナリ瞳マスクコ ロナグラフの開発 樋香奈恵 (総合研究大学院大学 / 宇宙航空研究開発機構)
11:06 V83a イメージスライサー型可視光面分光ユ ニットの開発 尾崎忍夫 (国立天文台)	10:42 W09a SPICA Coronagraph Instrument (SCI) : 特に設計進捗について 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)
11:18 V84a Second-Earth Imager for TMT (SEIT) : 装置概要とキーテクノロジーについて 小谷隆行 (宇宙航空研究開発機構)	10:54 W10b SPICA 望遠鏡搭載極低温デフォーマ ブルミラーの開発 青野和也 (東京大学)
11:30 V85a ダブルフレネルロムによるシェアリン グ・ナル干渉計の検証実験 小後摩佑介 (北海道大学)	10:54 W11b 立体サニャック干渉計による白色光ナ リング 西村 透 (東京農工大学)

10:54	W12b 常温ウェハ接合による Ge p ⁺ -i 接合素子の遠赤外線感度特性の評価 桐山雄一 (名古屋大学)	13:54	W23b 小型 JASMINE 望遠鏡素材の低温熱物性値の測定 田村友範 (国立天文台)
11:06	W13a スペース赤外線天文学のための次世代 Ge:Ga アレイ検出器の開発 神谷修平 (東京大学)		W24c 超小型赤外線位置天文衛星 Nano-JASMINE 搭載 CCD の放射線による性能劣化の評価-2 室岡純平 (東京大学)
	W14c 次世代遠赤外線ゲルマニウム検出器の開発 VI ~ 分子線エピタキシー法による透明電極の形成~ 鈴木仁研 (宇宙航空研究開発機構)	14:06	W25a Nano-JASMINE データ解析と公開 山田良透 (京都大学)
	W15c ウェファボンディングによる遠赤外線 BIB 型 Ge:Ga 検出器の開発 (4) 澤山慶博 (東京大学)	14:18	W26a スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 (18): 設計・計画・サイエンス 阿久津智忠 (国立天文台)
11:18	W16a 赤外線天文衛星「あかり」の現状について 村上 浩 (宇宙航空研究開発機構)	14:30	W27a スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 (19): パスファインダー 安東正樹 (京都大学)
11:30	W17b 「あかり」IRC 撮像パイプラインの改訂と地球光除去 江草美実 (宇宙航空研究開発機構)	14:42	W28a ASTRO-G/VSOP2 計画の現況 坪井昌人 (宇宙航空研究開発機構)
11:30	W18b 「あかり」IRC-NIR における新しいダークフレーム推定法 津村耕司 (宇宙航空研究開発機構)	14:54	W29b Astro-G 観測信号系の開発 河野裕介 (国立天文台)
3月17日(木) 午後・B会場		14:54	W30b 高頻度動作が可能な高信頼性回転駆動機構の国内開発 (IV) 今田晋亮 (宇宙航空研究開発機構)
13:30	W19a JASMINE (赤外線位置天文観測衛星) 計画シリーズの全体的状況 郷田直輝 (国立天文台)	14:54	W31b SOLAR-C : 高頻度動作が可能な高信頼性回転駆動機構の国内開発 (III) グリース潤滑剤アウトガス評価 (II) 渡邊恭子 (宇宙航空研究開発機構)
13:42	W20a 超小型位置天文衛星 nano-JASMINE の開発 : いざ打ち上げへ! 小林行泰 (国立天文台)		W32c 太陽プラズマ診断のための狭帯域チューナブルフィルターの開発 一本 潔 (京都大学)
13:54	W21b 小型 JASMINE の現状 矢野太平 (国立天文台)	15:06	W33a 光子計数型遠赤外線干渉計についての検討 松尾 宏 (国立天文台)
13:54	W22b レーザー干渉計型高精度変位センサーを用いた JASMINE 望遠鏡素材の熱変形測定 IV 丹羽佳人 (東京大学)	15:18	W34a AI 膜超伝導共振器を用いたミリ波サブミリ波カメラの開発 成瀬雅人 (国立天文台 / 東京大学)

3月18日(金) 午前・B会場	
09:30	W35a 全天 X 線監視装置 MAXI/GSC 1 年半の観測成果とデータ解析の現状 杉崎 睦 (理化学研究所)
09:42	W36b MAXI/SSC のキャリブレーションの現状 北山博基 (大阪大学)
09:42	W37b 全天 X 線監視装置 CCD カメラ (MAXI/SSC) のバックグラウンドの現状 大休寺新 (宮崎大学)
09:42	W38b すざく衛星搭載 X 線 CCD カメラ XIS のエネルギースケール軌道上校正の現状 澤田真理 (京都大学)
09:54	W39a 超小型衛星 Tsubame 搭載用広視野バーストモニターのシステム構築 川上孝介 (東京工業大学)
10:06	W40b 超小型衛星 Tsubame における γ 線突発天体の位置決定手法に関する研究 常世田和樹 (東京工業大学)
10:06	W41b 超小型衛星 Tsubame に搭載する硬 X 線偏光計の開発 谷津陽一 (東京工業大学)
10:06	W42b X 線ガンマ線偏光観測小型衛星 Polaris の開発現状 林田 清 (大阪大学)
10:18	W43b 新型 X 線干渉計の検討 II 坂田和也 (立教大学)
10:18	W44b X 線干渉望遠鏡に向けた光源の開発 II 武井 大 (立教大学)
10:18	W45b レーザープラズマ光源を使った Xmas 望遠鏡の撮像実験 II 村上弘志 (立教大学)
10:30	W46b 大規模ピクセル TES 型 X 線マイクロカロリメータアレイの開発 江副祐一郎 (首都大学東京)
10:30	W47b X 線マイクロカロリメータ動作のための断熱消磁冷凍機の開発 (5) 星野晶夫 (金沢大学)
10:30	W48b コリメート X 線斜入射法による CCD 空乏層厚の精密測定手法の開発 (3) 青山翔一 (宮崎大学)
10:42	W49b 衛星搭載用 X 線発生装置の開発の基礎実験 2 八木橋伸佳 (立教大学)
10:42	W50b 巨大バイナリブラックホール探査小型衛星 ORBIS 磯部直樹 (京都大学)
10:42	W51b ASTRO-H 搭載 硬 X 線撮像検出器 / 軟ガンマ線検出器のアクティブシールド部におけるデジタルフィルタの開発 高橋弘充 (広島大学)
10:54	W52a X 線天文衛星 ASTRO-H 搭載 X 線 CCD カメラ SXI の開発の現状 常深 博 (大阪大学)
11:06	W53a ASTRO-H 搭載軟 X 線 CCD カメラ (SXI) の低エネルギー応答 上田周太朗 (大阪大学)
11:18	W54a ASTRO-H 搭載 SXI のコンタミネーション対策 : コンタミ防止フィルターの音響試験 清水一真 (宇宙航空研究開発機構 / 東京工業大学)
11:30	W55b X 線天文衛星 ASTRO-H 搭載 X 線 CCD カメラ SXI の可視光・紫外線遮光対策 河合耕平 (工学院大学)

3月18日(金) 午後・B会場		3月19日(土) 午前・B会場	
13:30	W56a ASTRO-H 搭載 精密軟 X 線分光装置 SXS の開発の現状 (V) 田代 信 (埼玉大学)	09:30	W66a Astro-H 搭載 X 線望遠鏡サーマルシールドの開発の現状 田原 譲 (名古屋大学)
13:42	W57a ASTRO-H 搭載 精密軟 X 線分光装置 SXS の波形処理システム PSP の開発の現状 (III) 下田優弥 (埼玉大学)	09:42	W67a ASTRO-H 衛星における SpaceWire を用いた時刻配信方法の検証 (3) 岩瀬かほり (埼玉大学)
13:54	W58a ASTRO-H 搭載 硬 X 線望遠鏡 (HXT) の開発の現状 II 栗木久光 (愛媛大学)	09:54	W68a SpaceWire 通信アナライザーの開発 穴吹直久 (大阪大学)
14:06	W59a 硬 X 線望遠鏡用多層膜スーパーミラーの設計 宮田裕介 (名古屋大学)	10:06	W69a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 5: XRPIX1 の性能評価 鶴 剛 (京都大学)
14:18	W60a ASTRO-H/HXT 搭載用反射鏡製作の現状 加藤大佳 (名古屋大学)	10:18	W70a The Gravity and Extreme Magnetism Small Explorer (GEMS) - X 線偏光計の試作機の現状 早藤麻美 (NASA Goddard Space Flight Center)
14:30	W61a ASTRO-H 搭載硬 X 線望遠鏡用光線追跡シミュレータの現状 坂廻遼果林 (名古屋大学)	10:30	W71a CCD を用いる X 線天体監視カメラの開発 小谷太郎 (青山学院大学)
14:42	W62a ASTRO-H 衛星搭載硬 X 線撮像検出器用両面ストリップ検出器の性能評価 萩野浩一 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	10:42	W72a 国際宇宙ステーション搭載 CALET ガンマ線バーストモニタの開発報告 山根英之 (青山学院大学)
14:54	W63a 次期 X 線天文衛星 ASTRO-H 搭載 CdTe 半導体検出器における放射化バックグラウンドの評価 佐藤 有 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)		
15:06	W64a 次期 X 線天文衛星 ASTRO-H 搭載軟ガンマ線検出器用 Si 検出器の開発 道津匡平 (広島大学)		
15:18	W65a ASTRO-H 搭載 BGO シールド用 APD センサ及びアナログシステムの開発 吉野将生 (早稲田大学)		

X. 銀河形成

3月16日(水) 午後・E会場			
13:00	X01a あかりによる近赤外背景放射の揺らぎの観測 松本敏雄 (ソウル大学 / 宇宙航空研究開発機構)	14:24	X12a clump cluster/chain galaxy からの円盤とバルジの形成 井上茂樹 (東北大学)
13:12	X02a あかり NEP-DEEP フィールドにおける宇宙近赤外線背景放射の揺らぎの角度スペクトルの測定 村田一心 (総合研究大学院大学 / 宇宙航空研究開発機構)	14:36	X13a Dry merger による早期型銀河のサイズ進化 大木 平 (北海道大学)
13:24	X03a ロケット実験 CIBER による宇宙赤外線背景放射スペクトルの観測 (1) - 装置較正と観測結果 - 新井俊明 (宇宙航空研究開発機構 / 東京大学)	14:48	X14a 力学的視点から迫る低光度 S0 銀河の起源 欠畑賢之 (東京大学)
13:36	X04a ロケット実験 CIBER による宇宙赤外線背景放射スペクトルの観測 (2) - 宇宙背景放射成分の検出 - 松浦周二 (宇宙航空研究開発機構)	3月17日(木) 午前・E会場	
13:48	X05a ダストのサイズ分布進化と宇宙再電離過程 山澤大輔 (北海道大学)	09:30	X15a 極低金属あるいはゼロ金属銀河の静止系可視スペクトルに期待される特徴 井上昭雄 (大阪産業大学)
	X06c ダストのサイズ分布進化と初代銀河形成 山澤大輔 (北海道大学)	09:42	X16a $z \sim 6$ における原始銀河団 利川 潤 (総合研究大学院大学)
14:00	X07b 銀河形成時における超大質量星の形成について 稲吉恒平 (京都大学)	09:54	X17a MAHALO-Subaru 1 : プロジェクトの概要と現状 児玉忠恭 (国立天文台)
14:00	X08b 銀河風と矮小銀河の形状の関係について 中村繁幸 (筑波大学)	10:06	X18a MAHALO-Subaru 2 : XCS2215 銀河団 ($z=1.46$) と CL0332 銀河団 ($z=1.61$) における [OII] 輝線銀河探査 林 将央 (国立天文台)
14:00	X09b 銀河系ハロー星の分布関数の時間変化を解析する理論的土台 服部公平 (東京大学)	10:18	X19a MAHALO-Subaru 3 : CIGJ0218 銀河団 ($z=1.62$) における [OII] 輝線銀河探査 但木謙一 (東京大学)
	X10c スーパーメッシュを用いた輻射輸送計算の加速法 岡本 崇 (筑波大学)	10:30	X20b 4C23.56 原始銀河団の $H\alpha$ 輝線及び中間赤外線による星形成活動 : MAHALO- Subaru へ 田中 壱 (国立天文台)
14:12	X11a バリオン重力場変動へのダークマターハローの力学応答 扇谷 豪 (筑波大学)	10:30	X21b COSMOS 領域におけるチェーン銀河サンプルの構築 村田勝寛 (名古屋大学)
			X22c $z \approx 1.2$ の銀河の星形成と環境の関係における銀河相互作用の役割 井手上祐子 (愛媛大学)

Y. 天文教育・その他

		3月16日(水) 午後・G会場	
10:30	X23b	多波長同定で探る SSA22 領域におけるサブミリ波銀河の性質 : I. 多波長同定 梅畑豪紀 (東京大学)	13:00 Y01a
10:42	X24b	$z = 2$ 以来の銀河の星質量 - カラー分布の変遷 藤代尚文 (京都産業大学)	すばる望遠鏡ウェブサイトへのアクセス解析 1. 概要と時間変動 藤原英明 (国立天文台)
10:42	X25b	SXDF における $z \sim 2$ の大質量銀河の進化 栗田健太郎 (東北大学)	13:12 Y02a
10:42	X26b	アンドロメダストリームとダークマターハローの構造 桐原崇亘 (筑波大学)	すばる望遠鏡ウェブサイトへのアクセス解析 2. who, what 林 左絵子 (国立天文台)
10:54	X27a	赤方偏移 $z = 2.39$ の原始銀河団候補 53W002 領域における輝線銀河探査 馬渡 健 (東北大学)	Y03c
11:06	X28a	近赤外分光による $z \sim 2.2$ LAE の nebular emission lines の検出 橋本拓也 (東京大学)	国立天文台野辺山特別公開 - アンケート調査報告 宮澤千栄子 (国立天文台)
11:18	X29a	Lyman Alpha emitter における銀河内の clumpiness factor の影響 II 清水一紘 (東京大学)	13:24 Y04b
		3月17日(木) 午後・E会場	
13:30	X30a	銀河の表面質量密度の進化 市川 隆 (東北大学)	13:24 Y05b
13:42	X31a	MOIRCS Deep Survey: $0.5 < z < 2.5$ における passive 銀河の進化の質量依存性 鍛冶澤賢 (愛媛大学)	県立ぐんま天文台における天文学学校 長谷川 隆 (群馬県立ぐんま天文台)
13:54	X32a	銀河の星質量と星形成率の関係 村田勝寛 (名古屋大学)	13:24 Y06b
14:06	X33a	階層的銀河形成シナリオに基づく r プロセス元素の起源 石丸友里 (国際基督教大学)	京都産業大学神山天文台における教育普及活動の1年 中道晶香 (京都産業大学)
14:18	X34a	超金属欠乏星の元素組成の多様性と階層的銀河形成モデル 小宮 悠 (国立天文台)	13:36 Y07a
			「七夕出前授業」の実施の試み 前原裕之 (京都大学)
			Y08c
			全国同時七夕講演会の実施とその反響 前原裕之 (京都大学)
			13:48 Y09a
			「LLP 京都虹光房」: 神山天文台における人材育成の新しい試み 河北秀世 (LLP 京都虹光房)
			Y10c
			和歌山・大阪での新しい実践 - 釜ヶ崎、商店街、保育園、ホスピス - 富田晃彦 (和歌山大学)
			14:00 Y11a
			バリアフリー天文絵本プロジェクト 嶺重 慎 (京都大学)
			14:12 Y12a
			最先端科学の体験型学習講座 (ELCAS) の3年間の取り組みの成果と総括 野上大作 (京都大学)
			14:24 Y13a
			科学ライブショー「ユニバース」15年間の歩み 亀谷和久 (宇宙航空研究開発機構)

14:36	Y14a	大学院生出張授業プロジェクト (BAP) の活動報告 鎌田耕平 (東京大学)	10:06	Y25b	太陽白色光観測の天文教育への応用 花岡庸一郎 (国立天文台)
14:48	Y15b	大学院生出張授業プロジェクト (BAP) 2年間の軌跡 石川遼子 (東京大学 / 国立天文台)	10:06	Y26b	2009年7月の日食における太陽観察方法の啓発活動とその結果 矢動丸 泰 (紀美野町みさと天文台)
14:48	Y16b	名古屋大学グローバル COE プログラム「宇宙基礎原理の探求」におけるアウトリーチ活動 内藤博之 (名古屋大学)		Y27c	2012年5月21日全国横断金環日食の取り組みへの課題 大西浩次 (長野高専)
14:48	Y17b	知の構造化と天文学 高梨直紘 (東京大学)		Y28c	高校天文部における BS アンテナを利用した月の電波観測 篠原秀雄 (埼玉県立蕨高校)
	Y18c	Space Weather Forecasting Contest に参加して 三宅 互 (東海大学)		Y29c	月表面からの熱放射の観測とモデル実験 鈴木文二 (埼玉県立春日部女子高校)
15:00	Y19b	都心部における夜空の明るさの連続観測 野村詩穂 (星空公園)	10:06	Y30b	学校教育における疑似科学教育の影響 長島雅裕 (長崎大学)
	Y20c	茨城県における夜空の明るさ測定と行政・地域との関わり 檜木梨花子 (茨城大学)		Y31c	2年目の「人類よ、宇宙人になれ」 仲野 誠 (大分大学)
3月17日 (木) 午前・G会場			10:18	Y32b	高校生天体観測ネットワークの2010年度活動報告と今後の取り組み 塚田 健 (姫路市星の子館)
09:30	Y21a	観察とVRを取り入れた小・中学校用標準天文教材・教具の開発とその評価 I 縣 秀彦 (国立天文台)	10:18	Y33b	GPGPUによるMHDシミュレーションの高速化 山本瑤祐 (千葉大学)
	Y22c	教育用低分散分光器の開発 河北秀世 (LLP 京都虹光房 / 京都産業大学)	10:18	Y34b	江戸時代に用いられた観測儀器的3DCG復元 柳澤洋文 (大阪教育大学)
09:42	Y23a	非理科系の小学校教員志望学生への天文分野を含む理科教育 下井倉ともみ (東京学芸大学)			
09:54	Y24a	ひので衛星と高校・公開天文台・科学館との太陽共同観測 矢治健太郎 (立教大学)			

2011年2月20日発行

年会実行委員会

委員長	幸村孝由	(工学院大学)
委員	久保雅仁	(国立天文台)
	小久保英一郎	(国立天文台)
	左近樹	(東京大学)
	鈴木知治	(東京大学)
	田中邦彦	(慶應義塾大学)
	土居明広	(宇宙航空研究開発機構)
	峰崎岳夫	(東京大学)
	宮田隆志	(東京大学)
	奥村幸子	(国立天文台) 保育室担当

年会開催地理事

梅村雅之 (筑波大学)